

行動変容プログラムの推進 これまでの事業の報告 / 新たなテーマの紹介

〔 令和6年度 保健事業担当者に対する事業説明会 〕



地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
公衆衛生部 疫学解析研究課
佐々木なぎさ 本田瑛子



令和5年度作成の報告書

- 大阪健康安全基盤研究所ホームページに掲載

<http://www.iph.osaka.jp/s016/050/051/report.epiana.html>

各市町村でのダウンロードと保管、
関係部署への情報共有を宜しくお願い致します。



「行動変容プログラムの推進」事業

年度	実施対象と内容	実施内容の詳細
平成22年度	モデル実施(7市町)	● 寝屋川保健所管内の寝屋川市 ● 泉佐野保健所管内の泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町
平成23年度	モデル実施(2市) 市町村ヒアリング	● 池田保健所管内の箕面市 ● 八尾保健所管内の八尾市 ● 市町村ヒアリング実施
平成24年度	本格実施(26市町)	● 府内の全市町村に対象を広げ、循環器病予防対策の実践を支援する事業を開始
平成25年度	事業評価(26市町) 事業実施(3市) 汎用性の高い行動変容プログラム(4テーマ)	● 前年度から実施した事業の評価 ● 残り8市町村に事業参加を呼びかけ、3市実施(1市は事業計画のみ) ● 本事業の成果をもとに「高血圧対策」「禁煙支援」「特定健診の受診率向上」「特定保健指導の実施率向上」のプログラム作成
平成26年度	フォローアップ事業	● 行動変容プログラムの普及 ● 市町村の取り組み実態の把握(市町村アンケート開始)
平成27年度	フォローアップ事業 「糖尿病対策」の追加	● 行動変容プログラムの普及 ● 市町村の取り組み実態の把握(市町村アンケート継続)
平成28・29年度	フォローアップ事業	● 行動変容プログラムの普及 ● 市町村の取り組み実態の把握(市町村アンケート継続)
平成30年度	フォローアップ事業 行動変容実践部会の開催	● 実践部会で行動変容プログラムの見直しを実施 ● 市町村の取り組み実態の把握(市町村アンケート継続)
令和元～2年度	フォローアップ事業 プログラム改訂案作成	● 市町村の取り組み実態の把握(市町村アンケート継続)
令和3～4年度	フォローアップ事業 プログラム改訂版の提示	● 市町村の取り組み実態の把握(市町村アンケート継続)

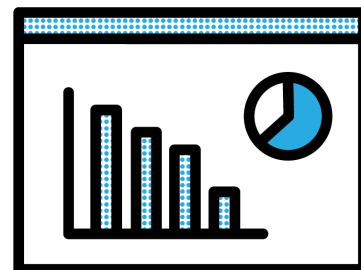
「行動変容プログラムの推進」事業

1. 特定健診受診率向上
2. 特定保健指導の実施率向上
3. 特定健診、がん検診等の保健事業の場における禁煙支援
4. 特定健診の場を利用した高血圧対策
5. 糖尿病対策(糖尿病性腎症重症化予防を含む)

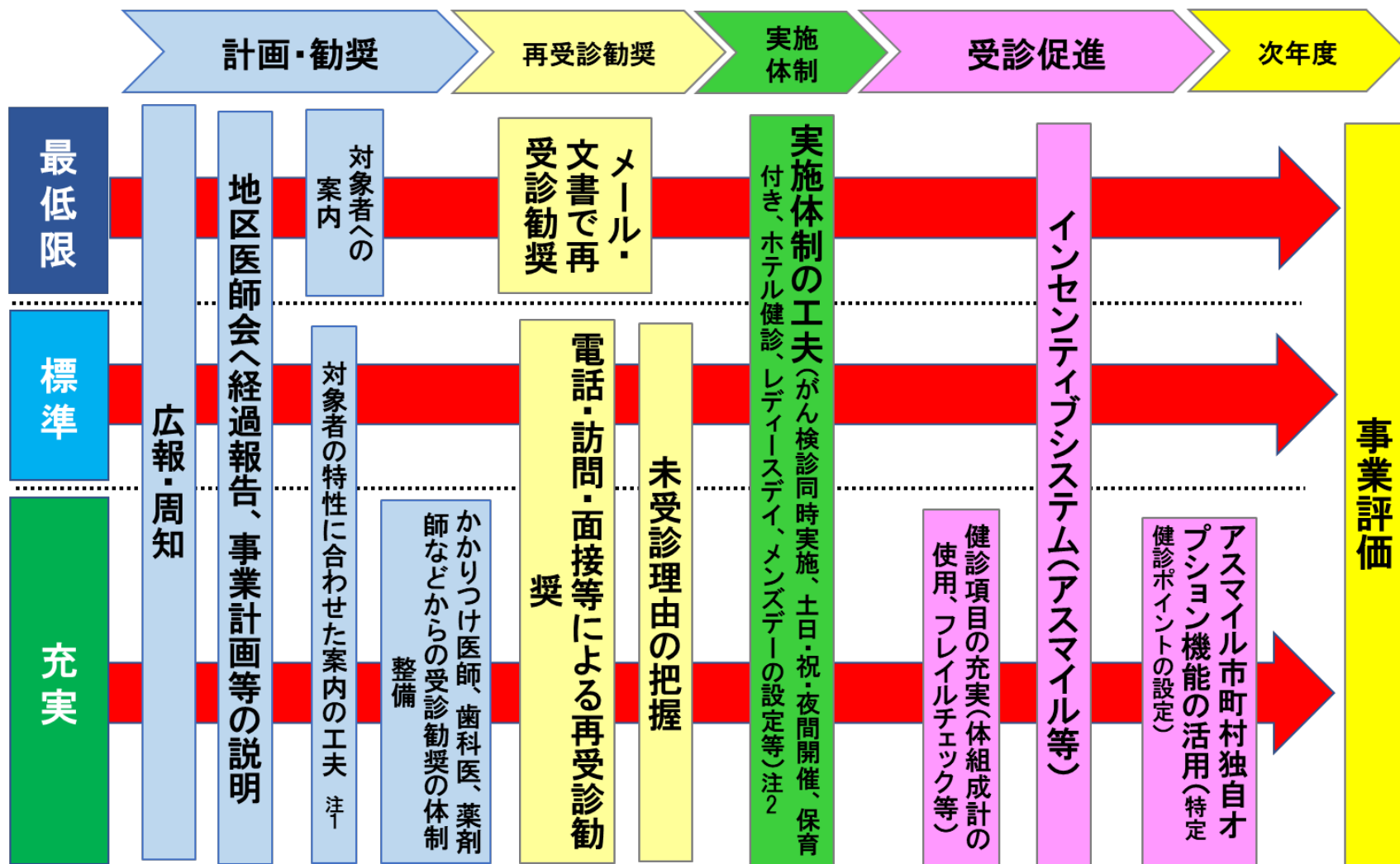
汎用性の高い行動変容プログラム(第一期)

発表について

- 各プログラム(令和3年度改訂版)の最低限の項目における
調査初年度 (H25またはH26)
令和3年度 (R3)
令和4年度 (R4)
の結果を主に示します。
- アンケート聞き取り項目の変更により、
調査初年度の結果がない項目もあります。



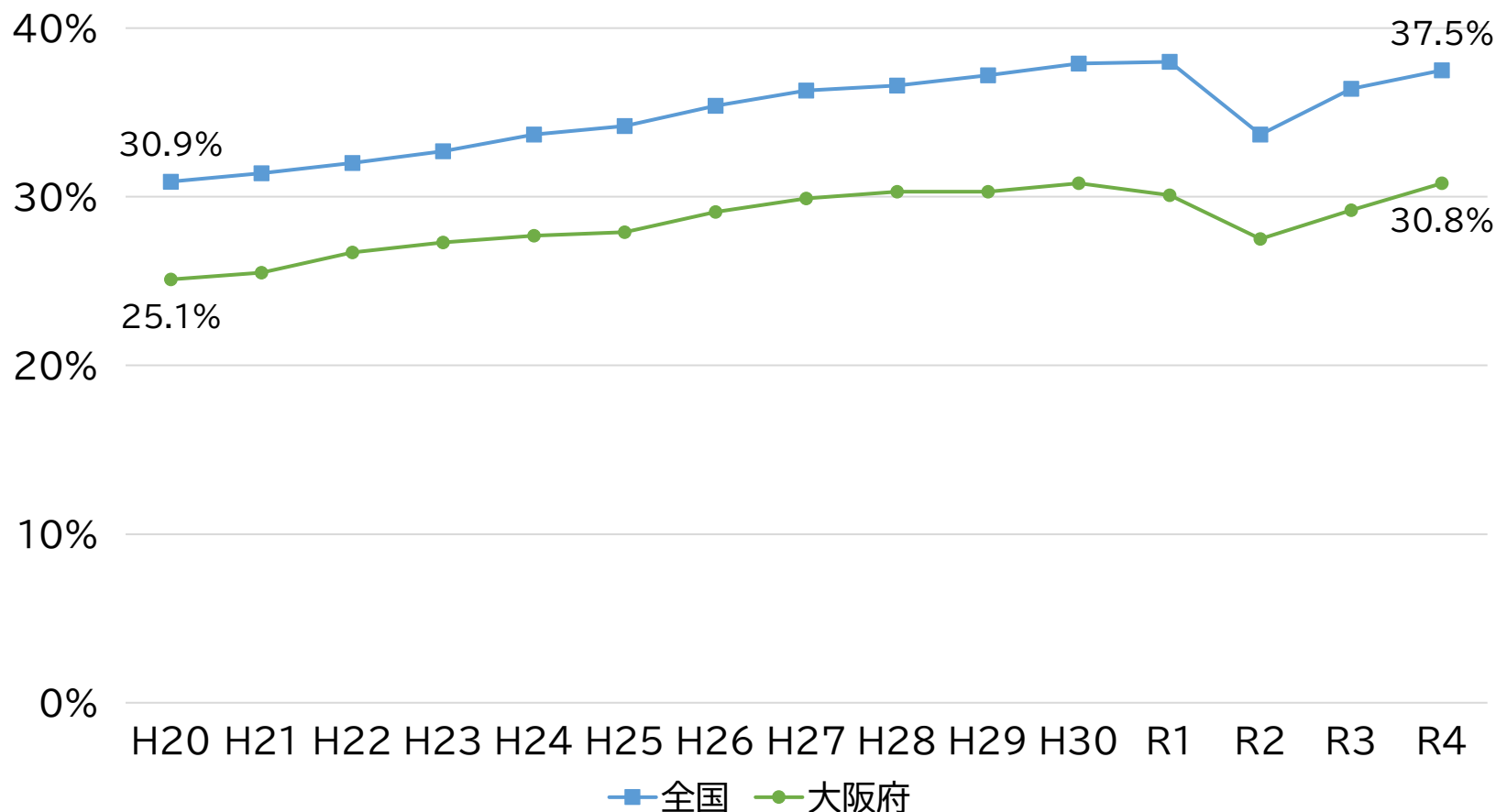
特定健診受診率向上



注1) 受診歴や地域に応じた案内の工夫等

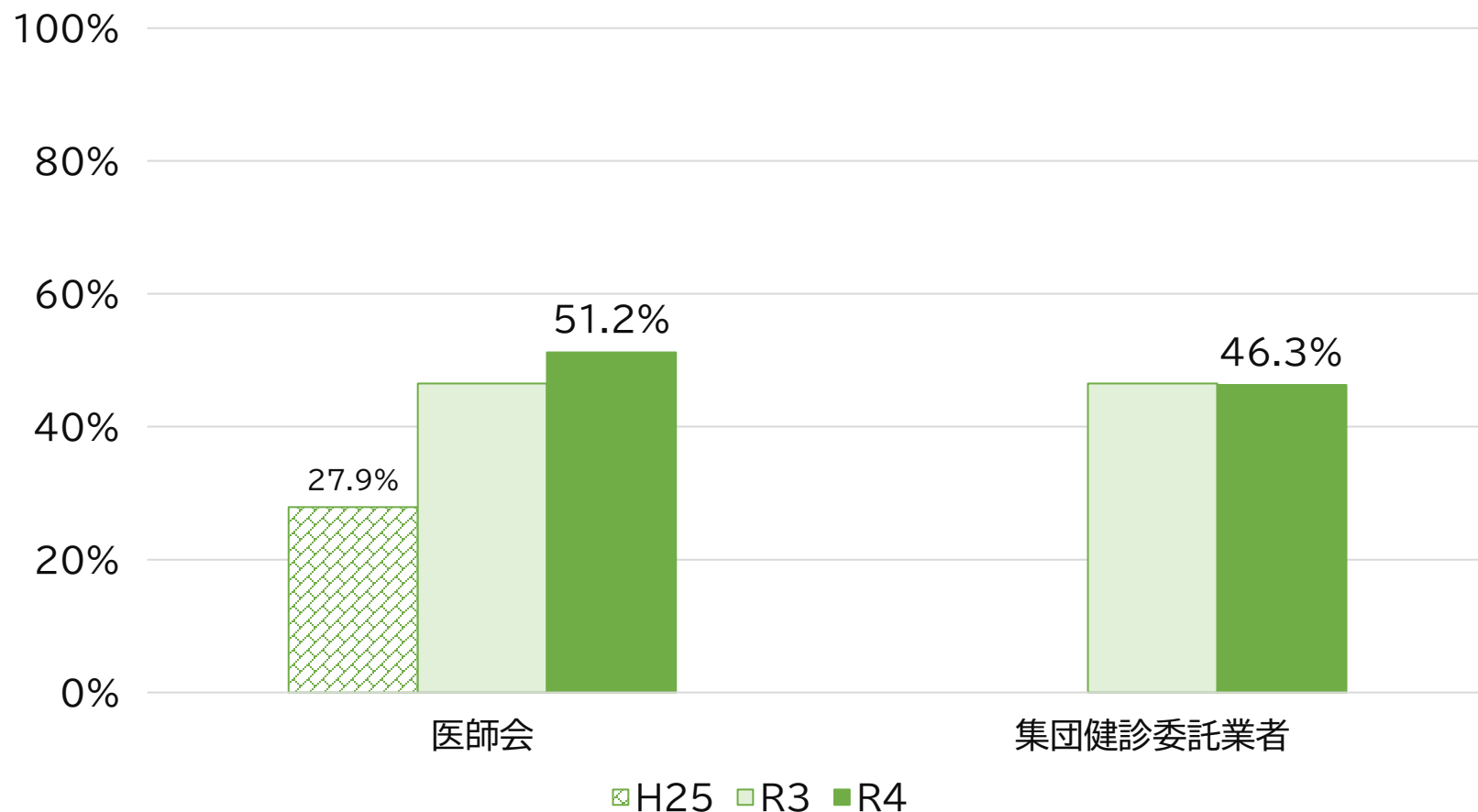
注2) 取組工夫の個数 1つ:最低限、2つ:標準、3つ以上:充実
ただし、標準、充実はがん検診同時実施を必須とする

特定健診受診率の推移



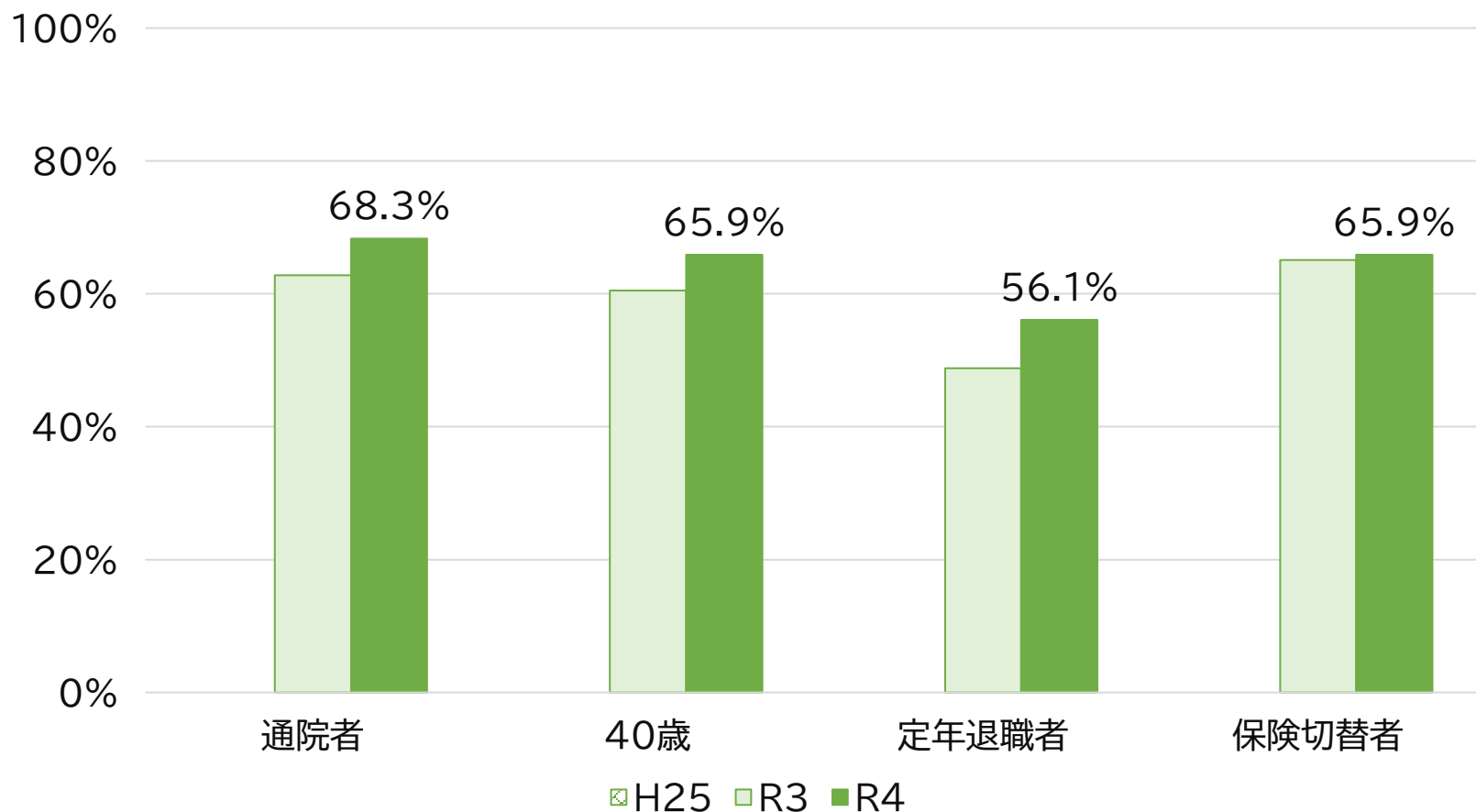
出典 大阪府市町村国保:大阪府国民健康保険団体連合会より
全国市町村国保 :国民健康保険中央会市町村特定健康診査・特定保健指導実施状況より

定期的な打ち合わせ



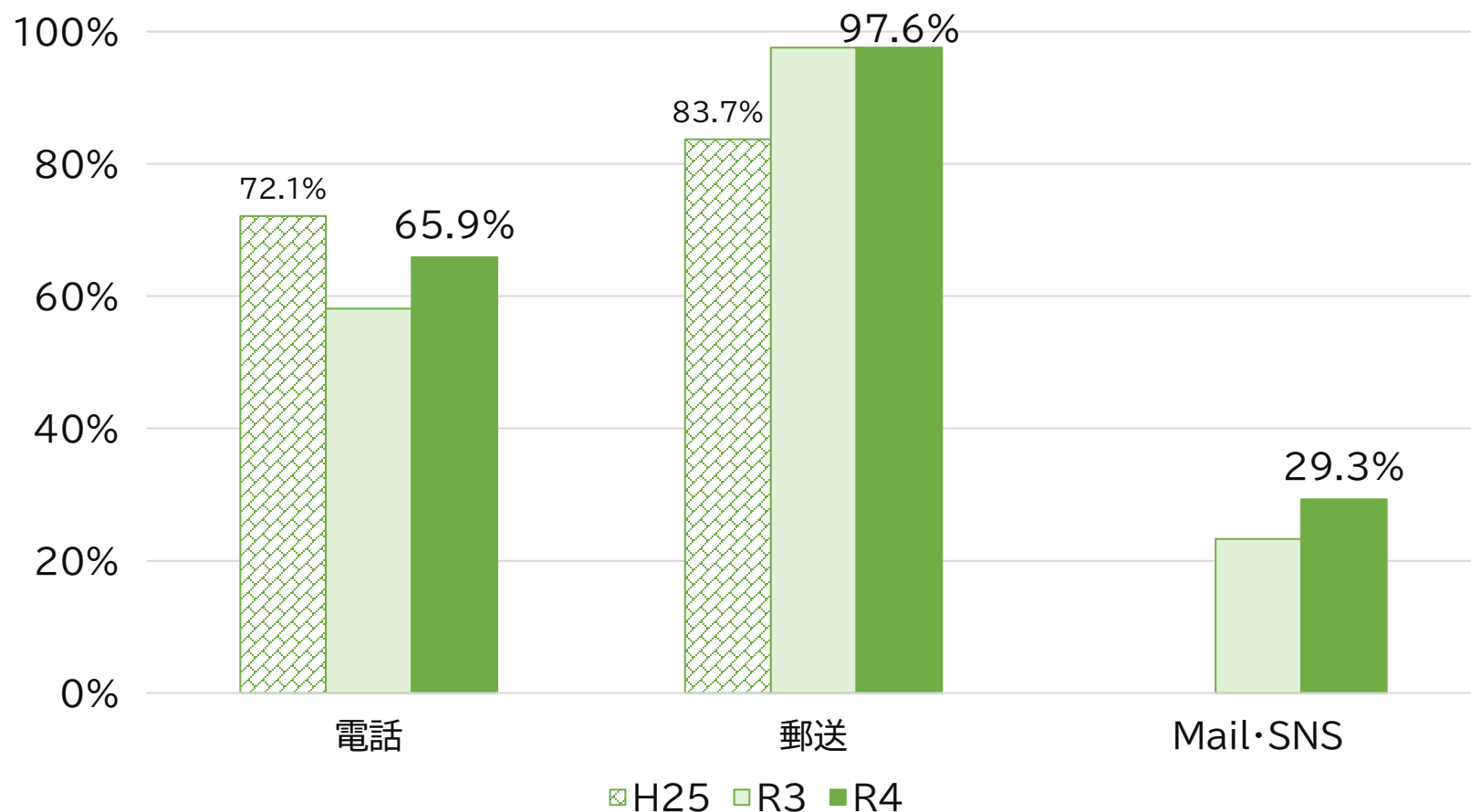
注釈： H25では、集団健診委託業者に関するアンケート調査は実施してない。

受診勧奨のターゲット



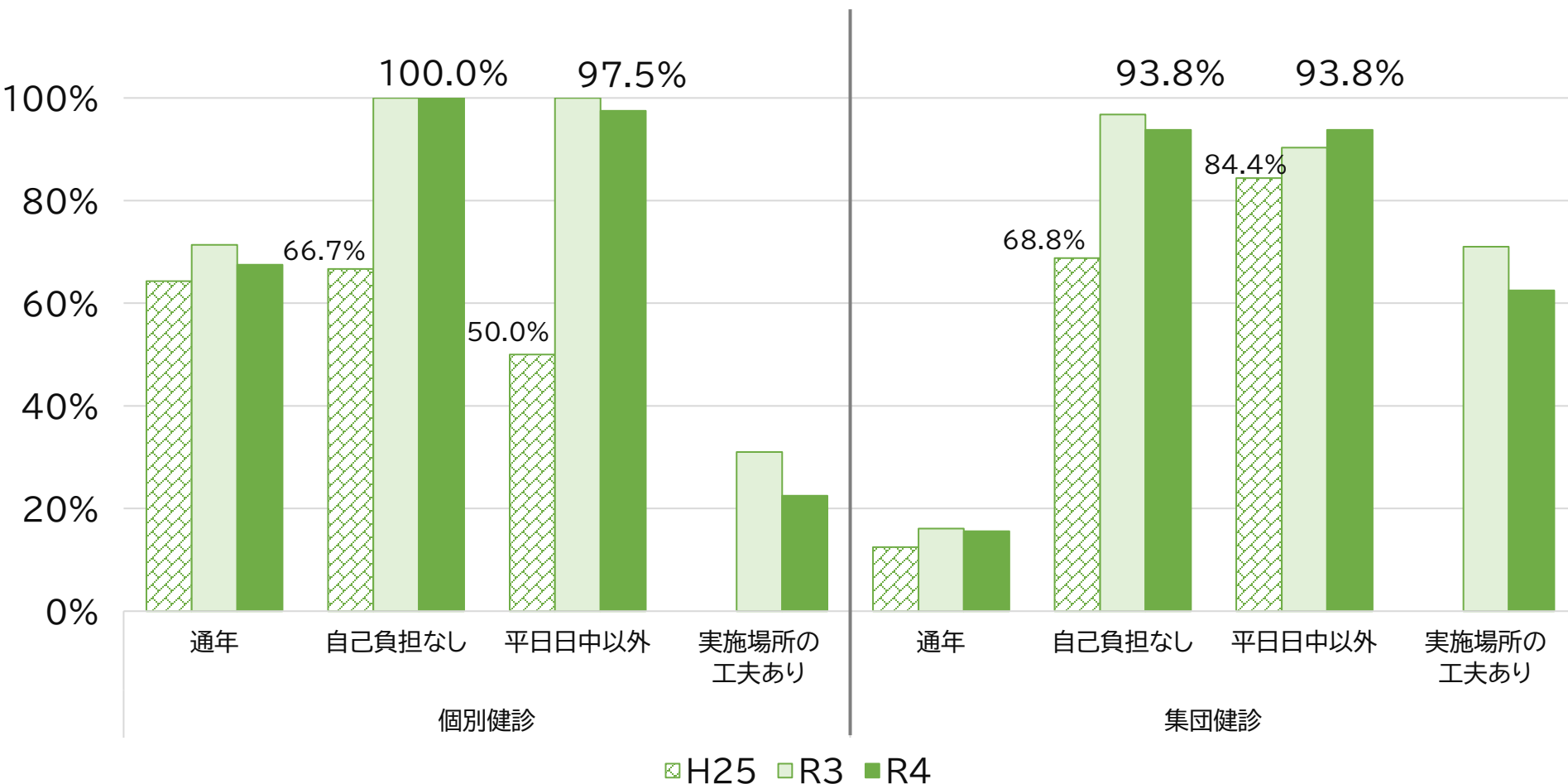
注釈： H25では、受診勧奨のターゲットに関するアンケート調査は実施してない。

未受診者勧奨



注釈： H25では、Mail・SNSに関するアンケート調査は実施してない。

実施体制の工夫について



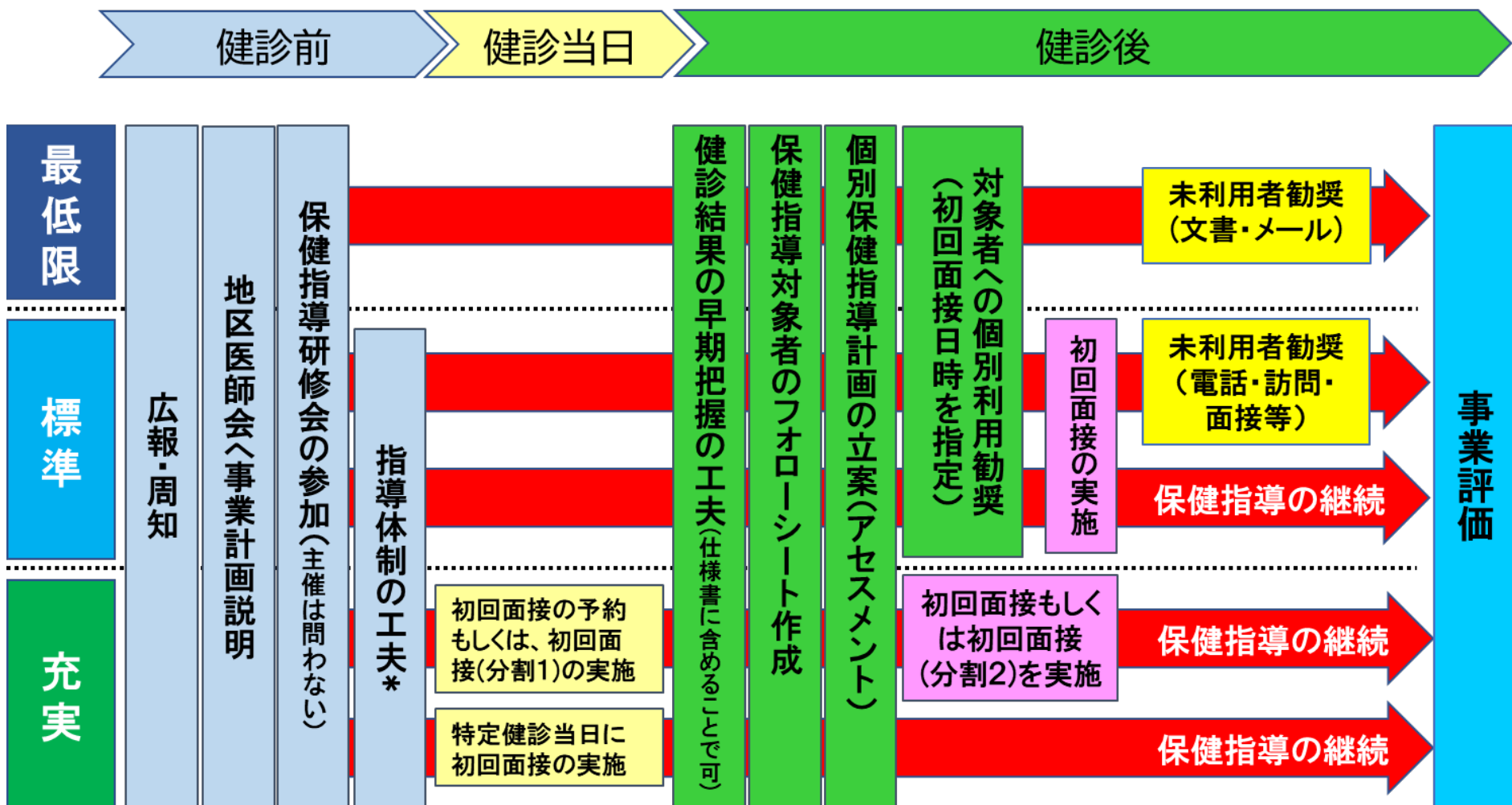
注釈： H25では、実施場所の工夫の有無に関するアンケート調査は実施してない。

現状と今後の期待(特定健診)

- 関係機関との打ち合わせ：約50%
- ターゲット別の受診勧奨：約60～70%
- 未受診者勧奨：電話や郵送を多数実施
Mail・SNSの実施率も増加
- 実施体制：自己負担なく平日日中以外の受診可

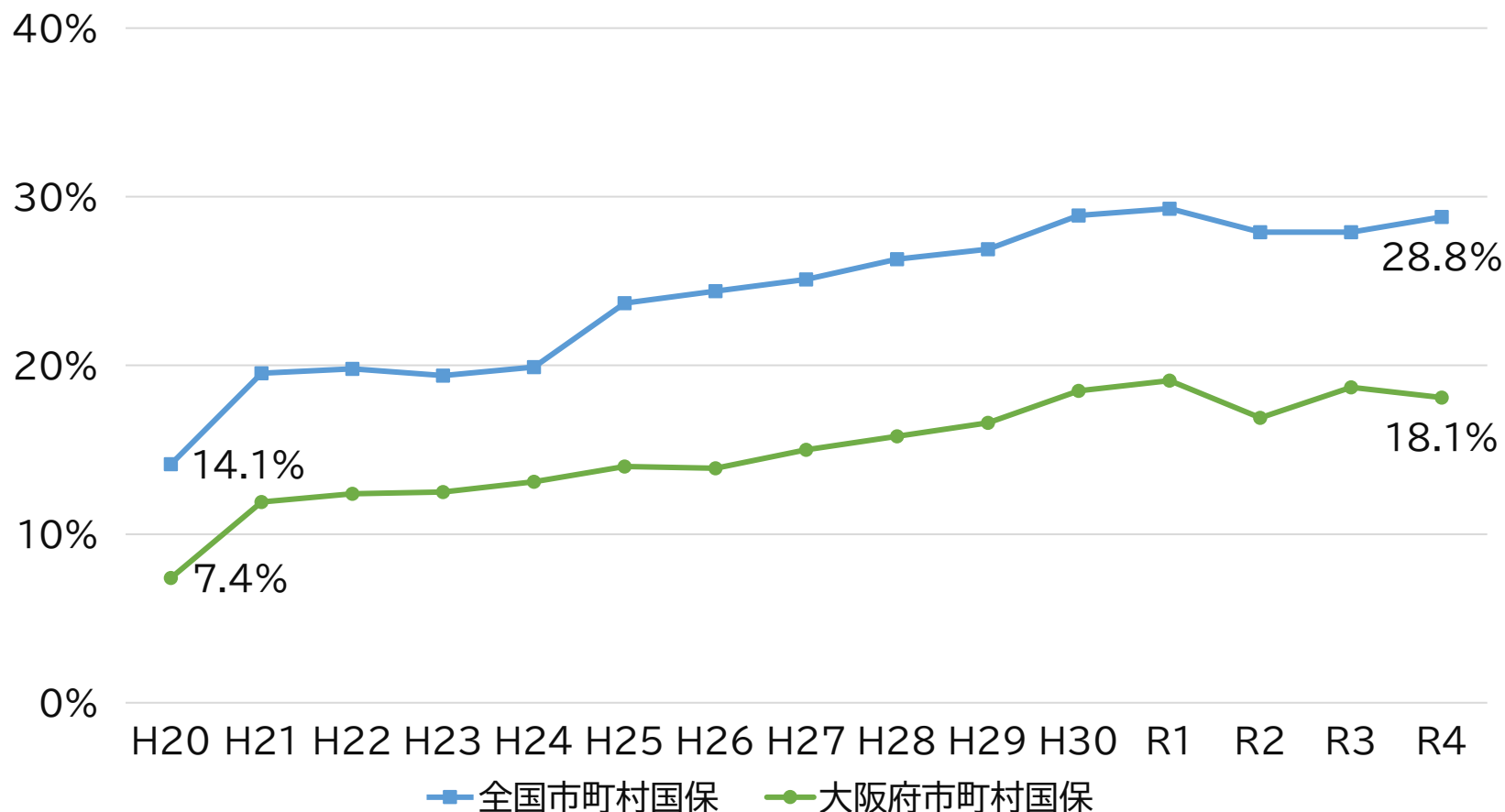
各市町村の規模や状況に合わせた
対象へのアプローチの優先順位を決定し、
「計画・勧奨」「再受診勧奨」「体制整備」「受診促進」
の流れに沿った方法の検討が必要

特定保健指導の実施率向上



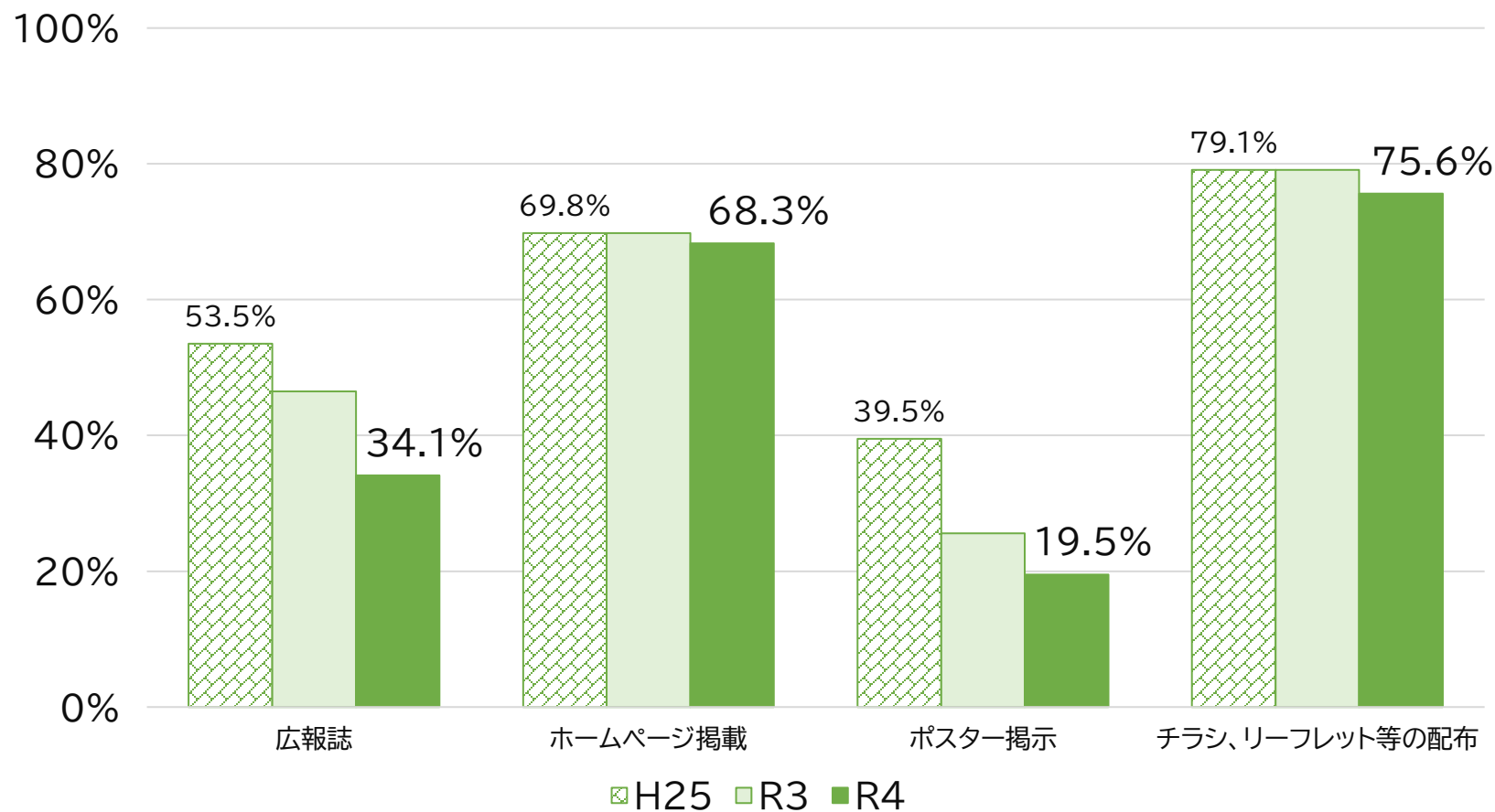
*スポーツジムとの連携、アプリの活用、夜間、土日祝日開催等

特定保健指導の実施率の推移

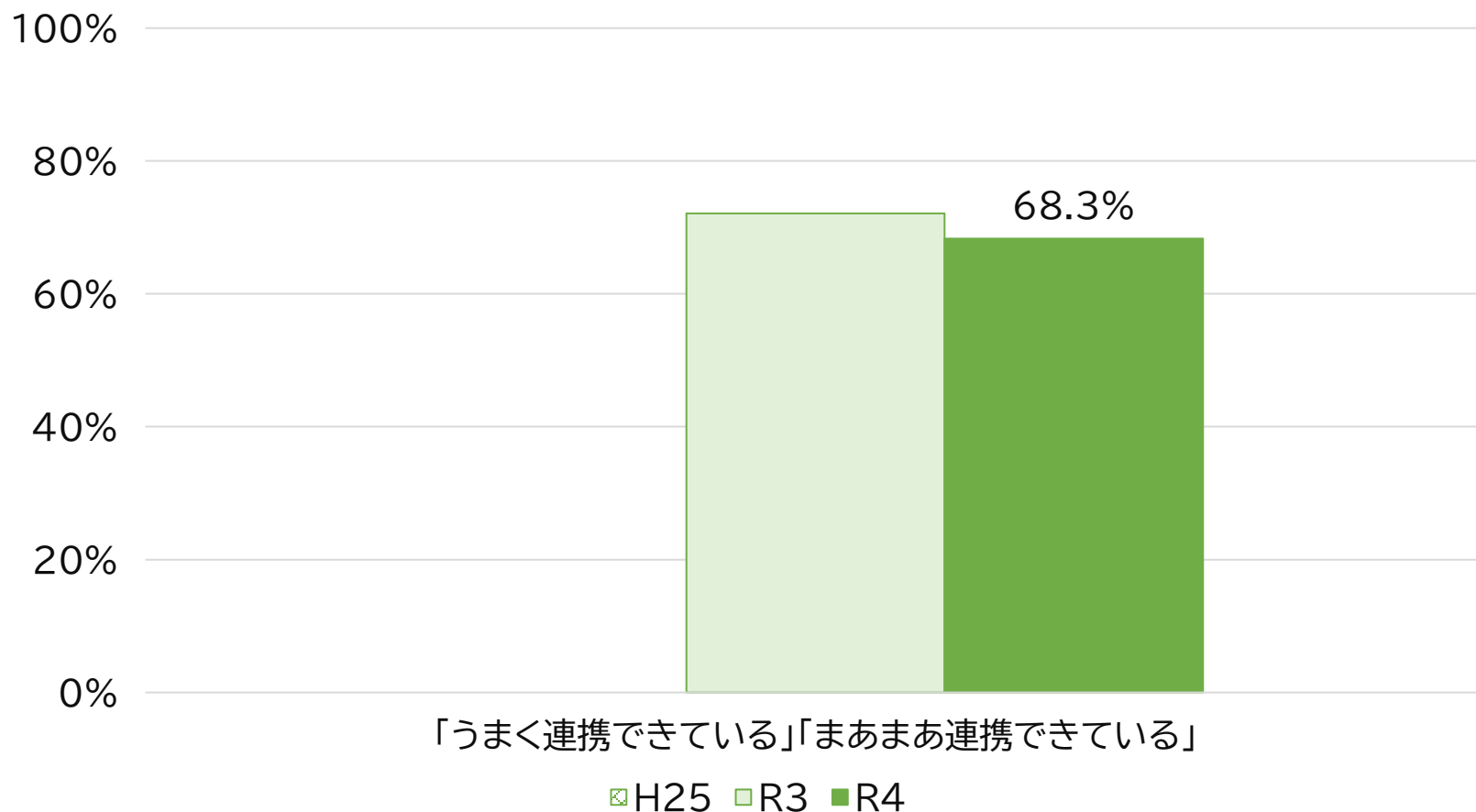


出典 大阪府市町村国保:大阪府国民健康保険団体連合会より
全国市町村国保 :国民健康保険中央会市町村特定健康診査・特定保健指導実施状況より

広報・周知

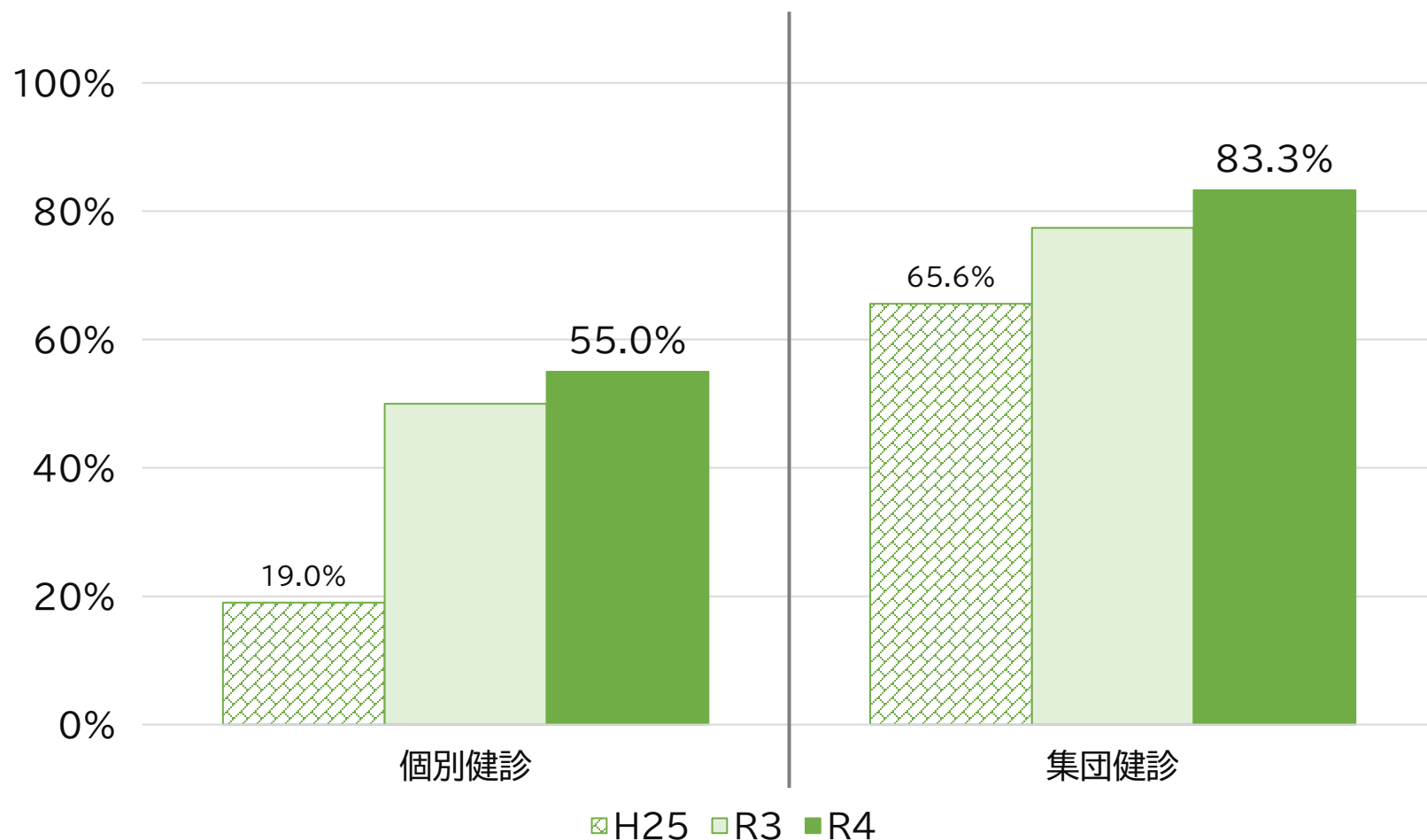


医師会との連携



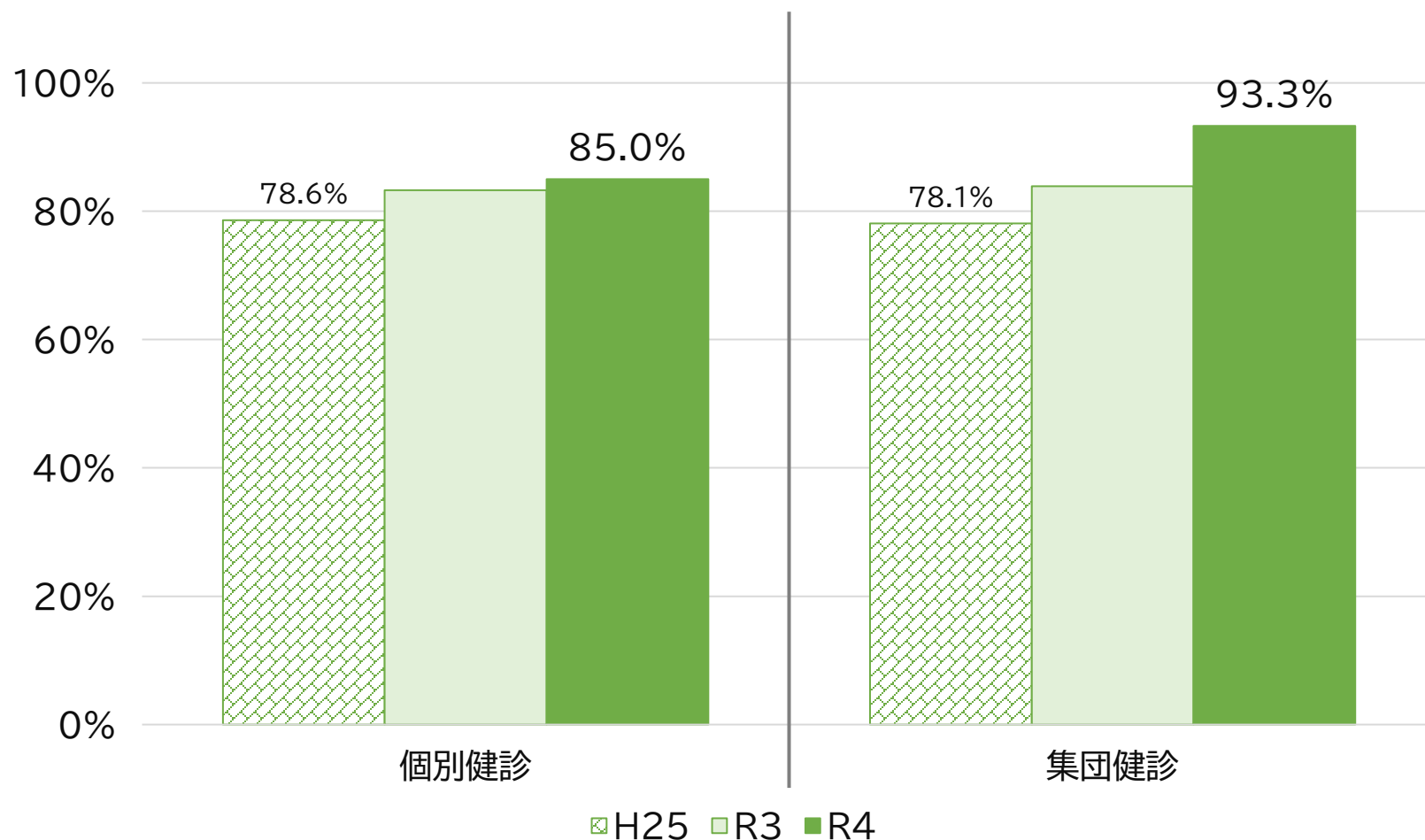
注釈： H25では、医師会との連携に関するアンケート調査は実施していない。

対象者への個別利用勧奨



注釈： グラフの割合は、該当の特定健診の実施形態を実施している市町村を母数としたもの

未利用者勧奨の実施あり



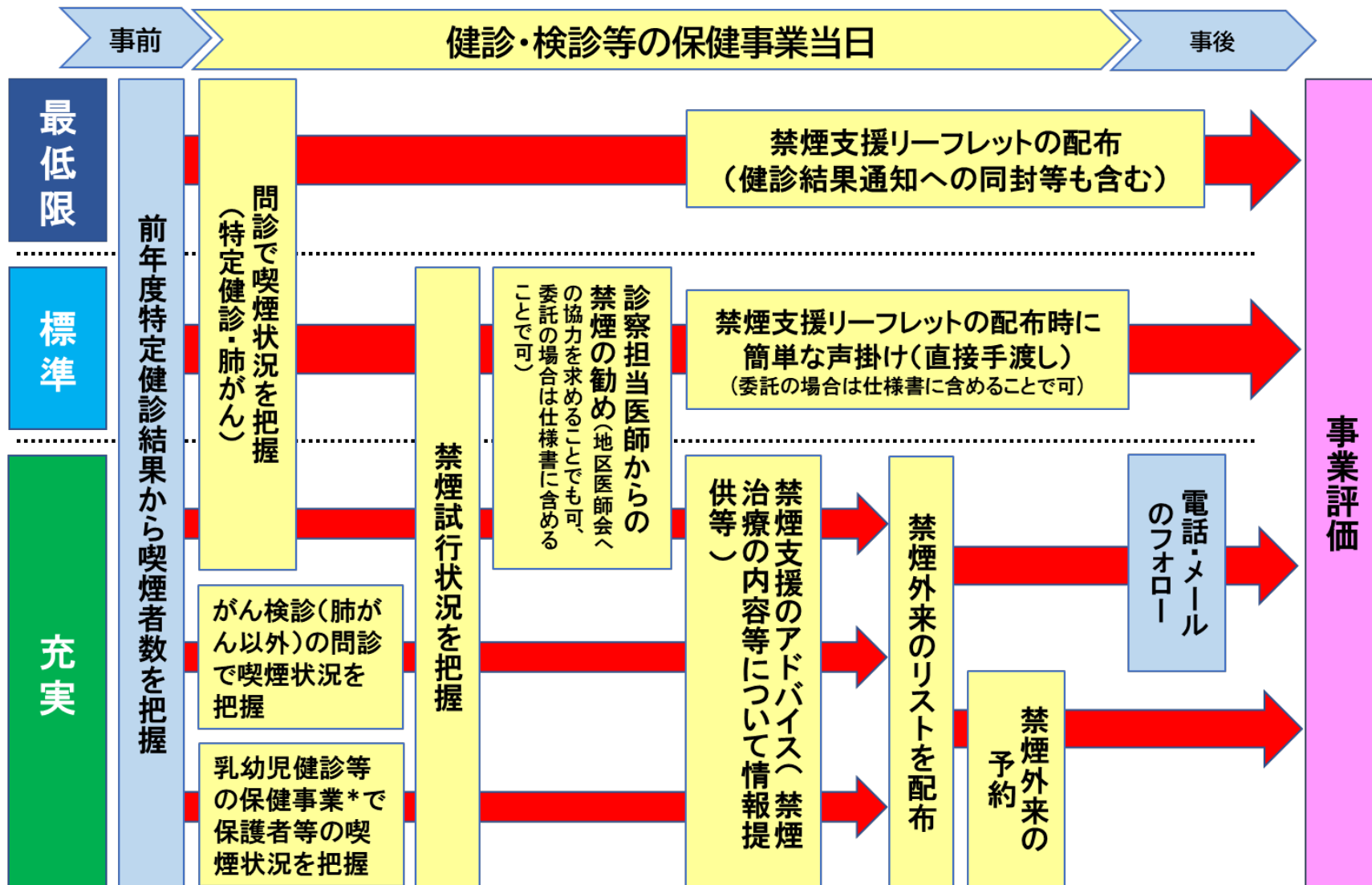
注釈： グラフの割合は、該当の特定健診の実施形態を実施している市町村を母数としたもの

現状と今後の期待(特定保健指導)

- 広報・周知：ホームページやチラシ配布は、変化なし
(ホームページ：約70%、チラシ配布：約80%)
- 医師会連携：約70%
- 利用勧奨：個別健診55%、集団健診83%
- 未利用者勧奨：個別健診85%、集団健診93%

第4期特定保健指導(アウトカム評価など)に合わせた
機関連携によって、保健指導の質の向上や
人員不足を補うことで、事業が進展することを期待

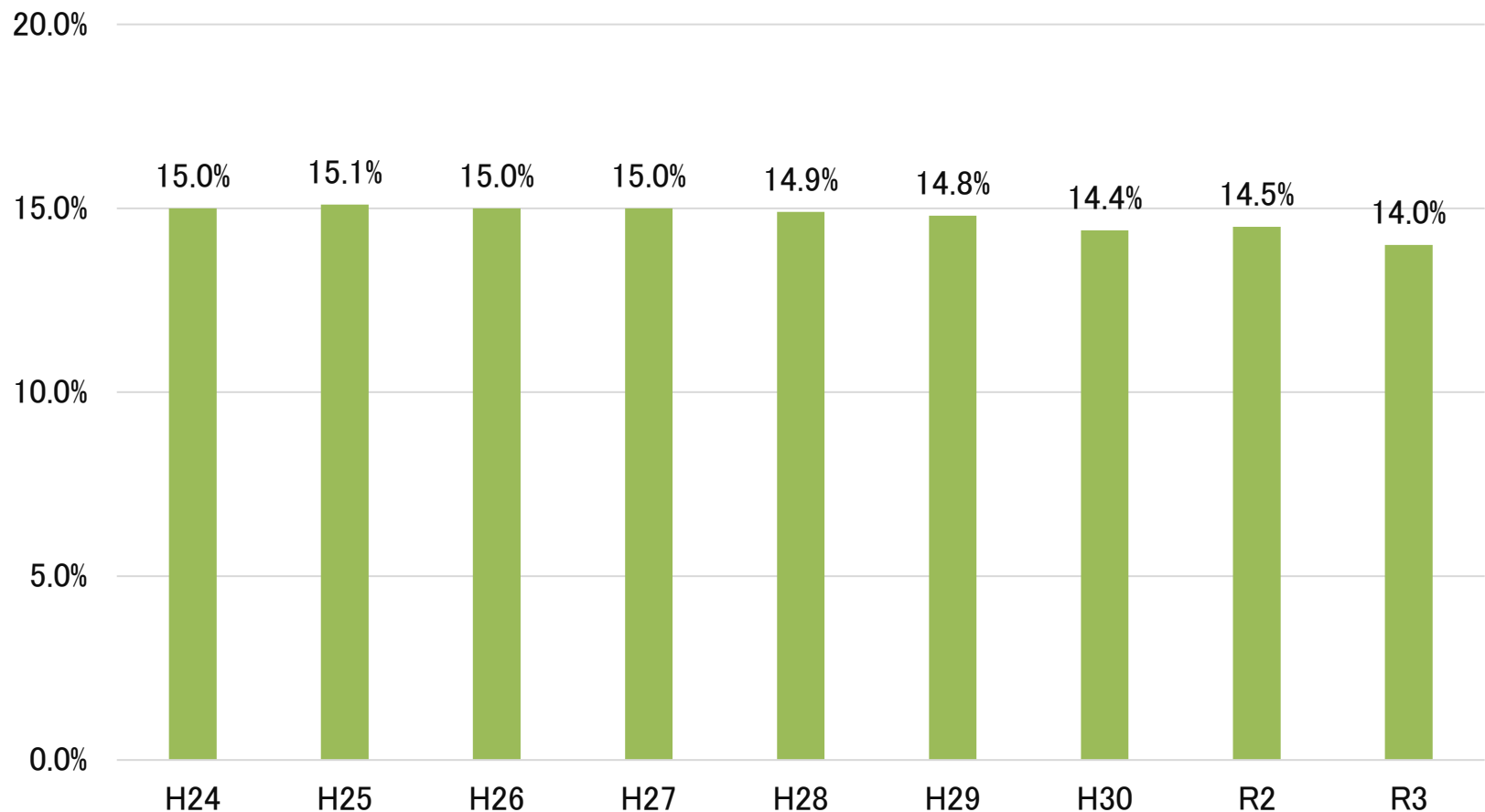
特定健診・がん検診等の保健事業の場における禁煙支援



* 母子健康手帳交付時の面接、両親教室等

特定健診における喫煙率の推移

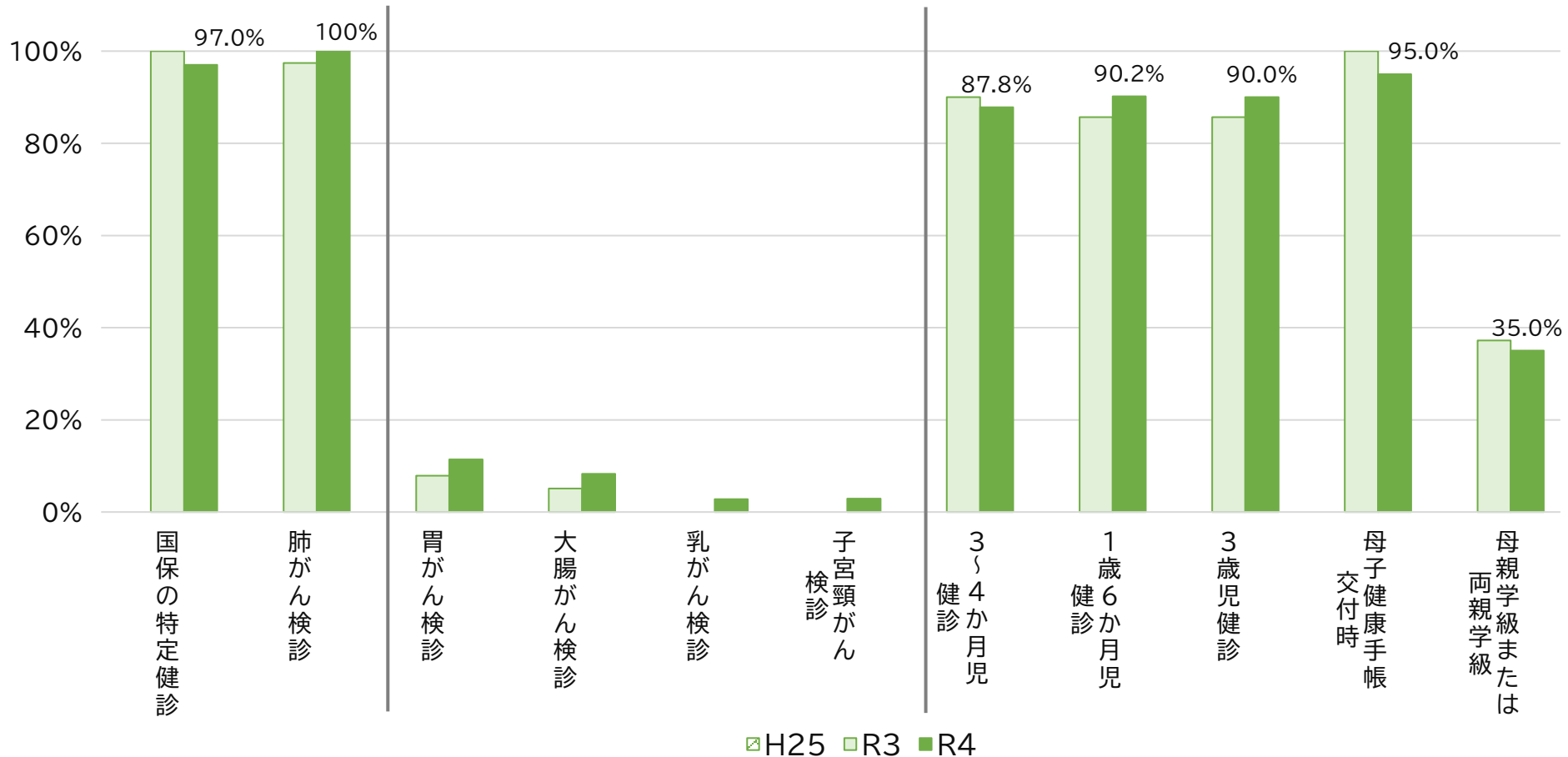
(男女)【市町村国保】



出典 令和四年度大阪府循環器疾患予防研究受託業務 医療費分析報告書より

受診者全員への喫煙状況の把握

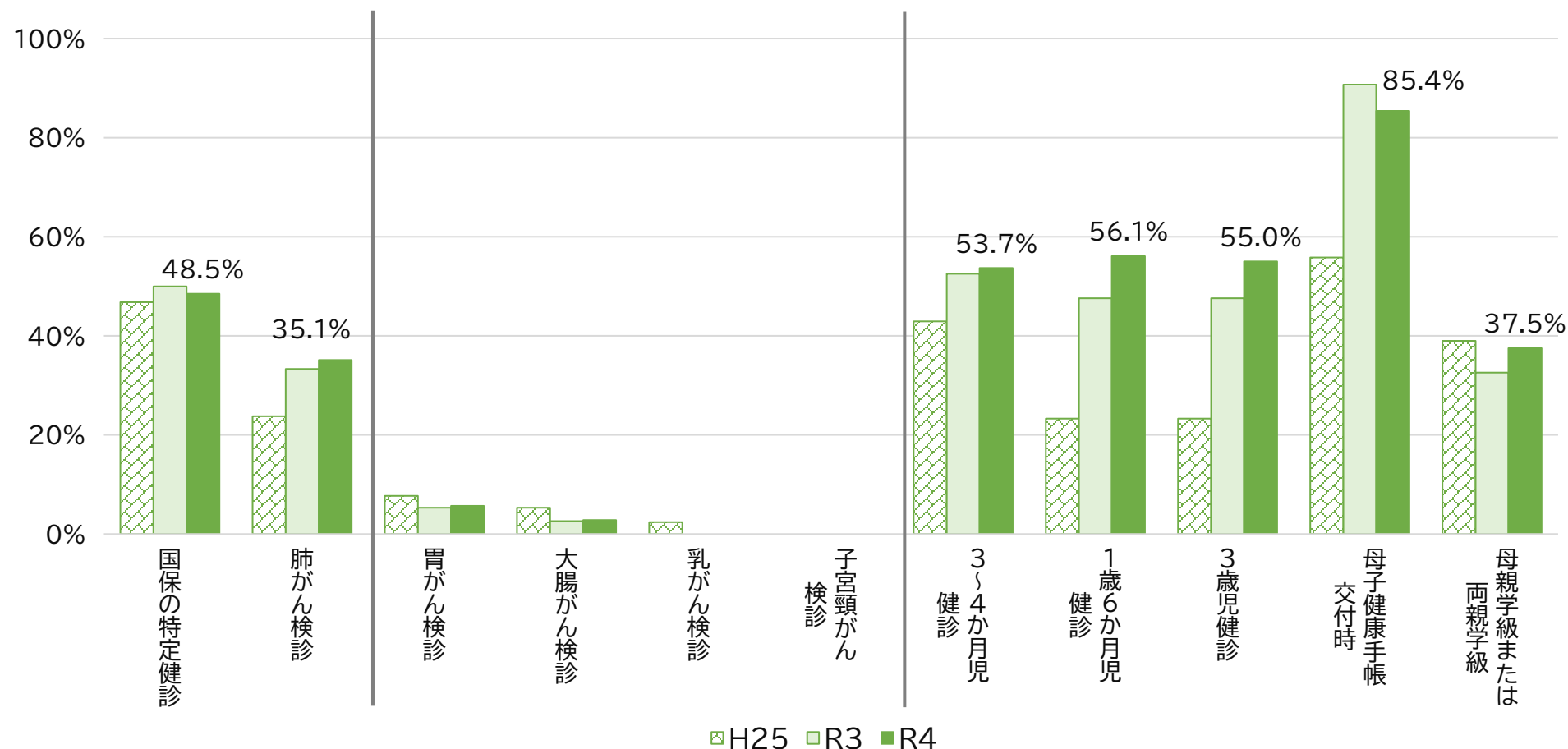
集団健診・検診



注釈： H25では、喫煙状況の把握の有無に関するアンケート調査は実施していない。
グラフの割合は、該当の保健事業を実施している市町村を母数としたもの。

喫煙者全員への禁煙支援

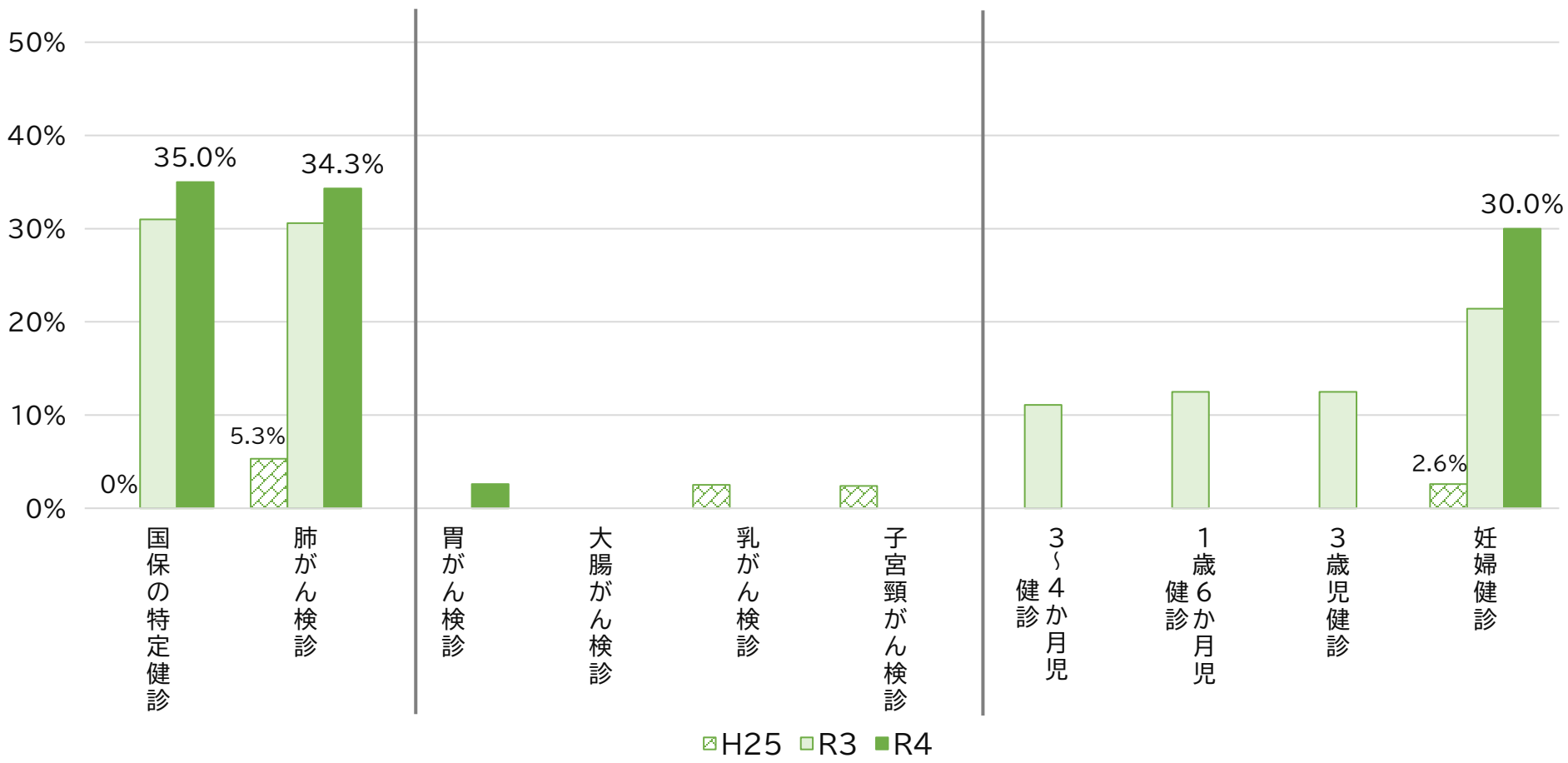
集団健診・検診



注釈： グラフの割合は、該当の保健事業を実施している市町村を母数としたもの

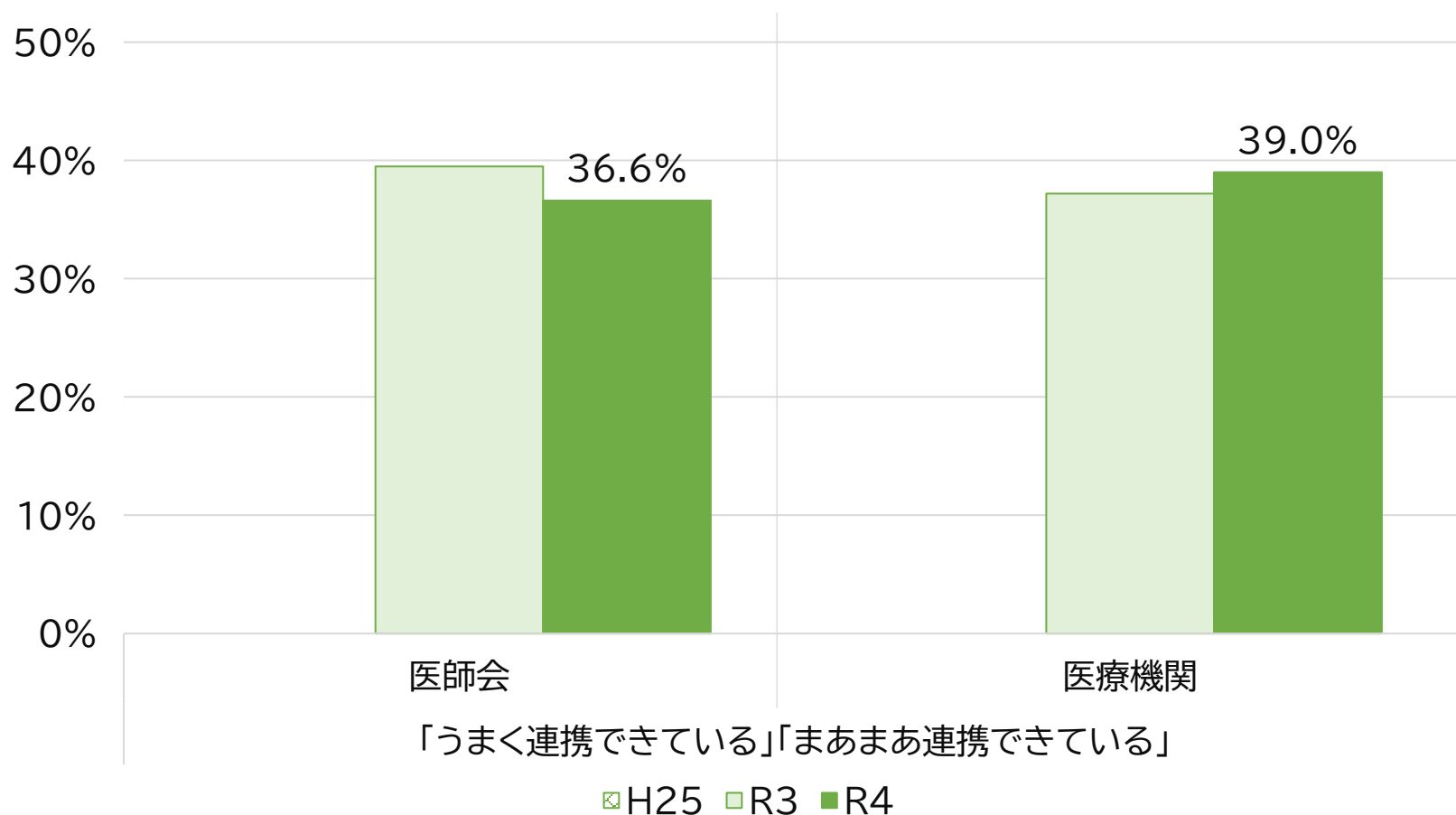
喫煙者全員または一部への禁煙支援実施依頼

個別健診・検診



注釈： グラフの割合は、該当の保健事業を実施している市町村を母数としたもの

関係機関との連携



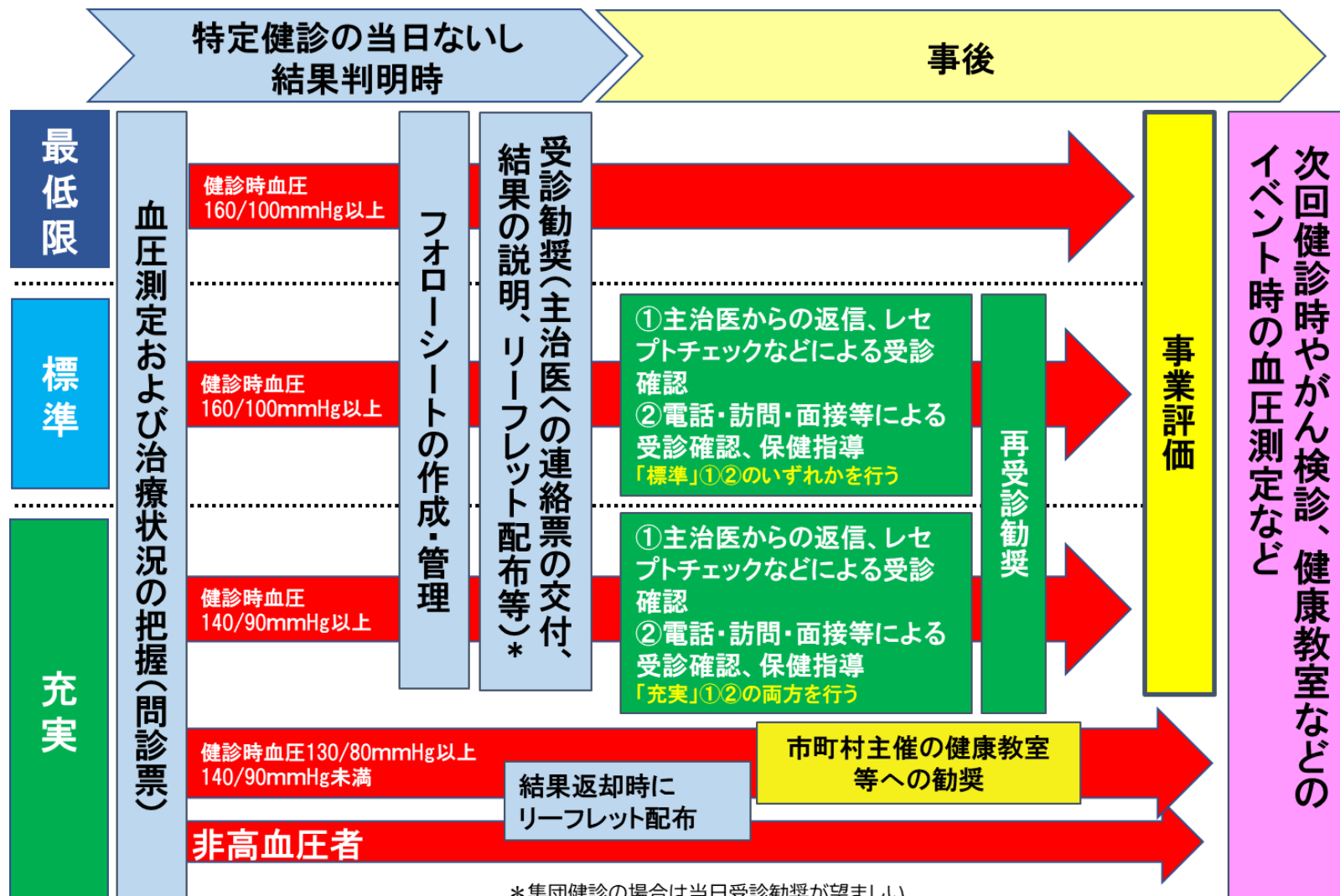
注釈： H25では、関係機関との連携の有無に関するアンケート調査は実施していない。

現状と今後の期待(禁煙支援)

- 集団健診、検診：
 - 喫煙状況の把握
特定健診、肺がん検診、乳幼児健診、母子手帳交付時で可
 - 禁煙支援
母子手帳交付時は80%特定健診
肺がん検診、乳幼児健診では半数以下
- 個別健診・検診：禁煙支援依頼は40%以下
- 関係機関連携：医師会、医療機関連携は40%以下

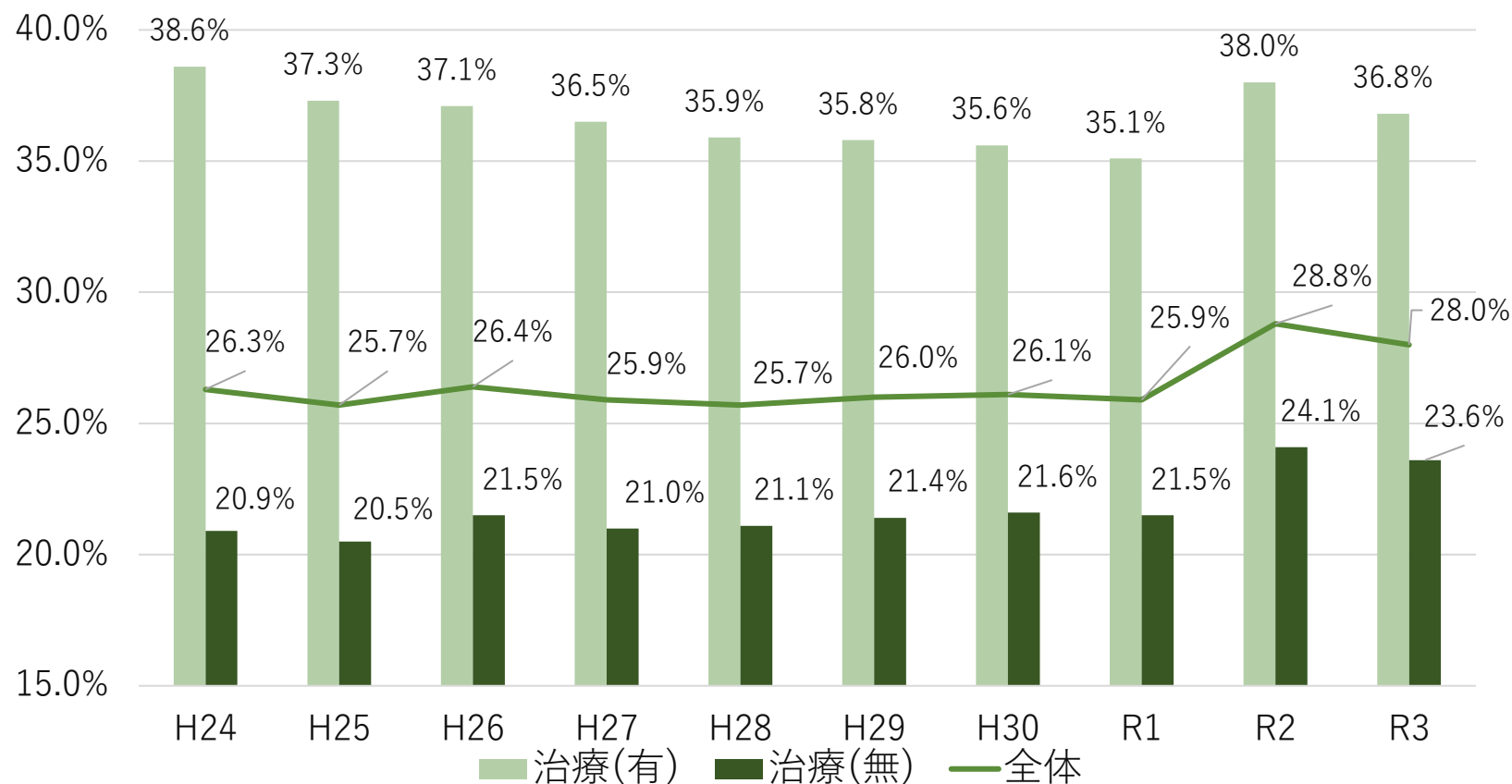
禁煙支援対象を正確に把握するための環境を整え、
支援者の禁煙支援スキルや最新情報の更新を
e-learningや勉強会などで行うことが重要

特定健診の場を利用した高血圧対策



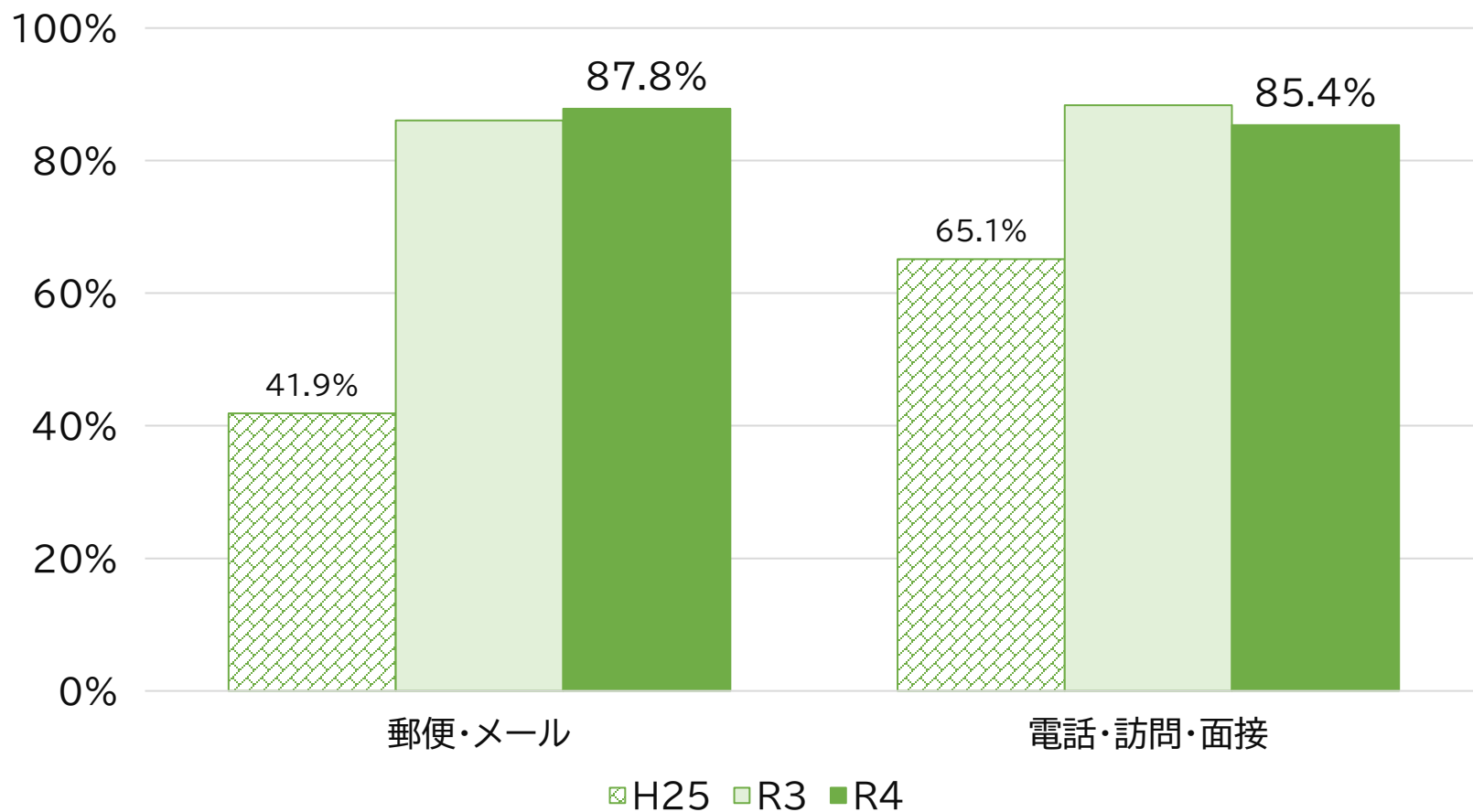
* 集団健診の場合は当日受診勧奨が望ましい

特定健診における高血圧有病率の推移 (男女)【市町村国保】

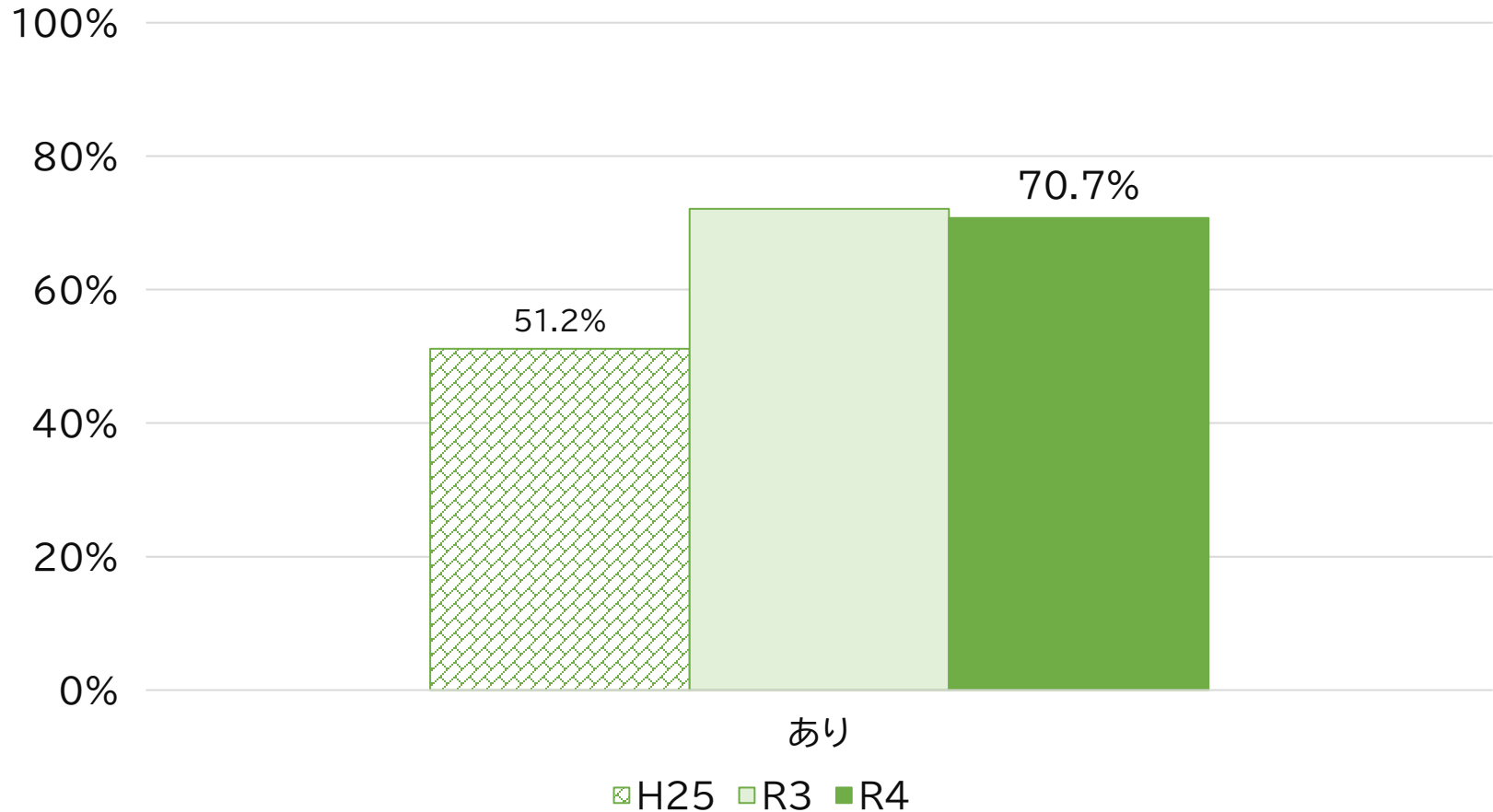


高血圧の定義は、収縮期血圧 $\geq 140\text{mmHg}$ and/or 拡張期血圧 $\geq 90\text{mmHg}$

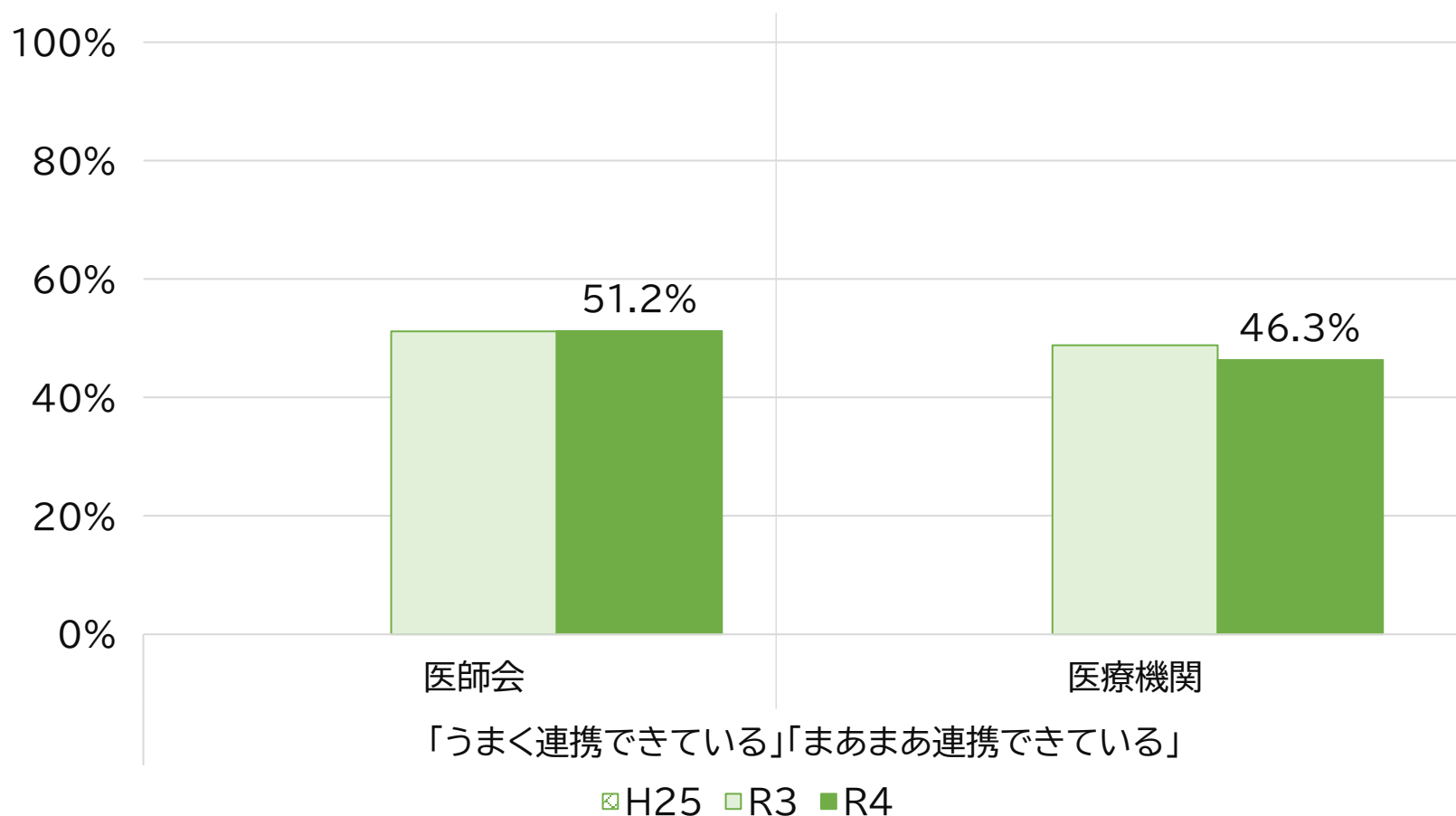
受診勧奨(健診時160/100mmHg以上の対象者)



レセプトチェックなどによる受診確認 (健診時160/100mmHg以上の対象者)



関係機関との連携



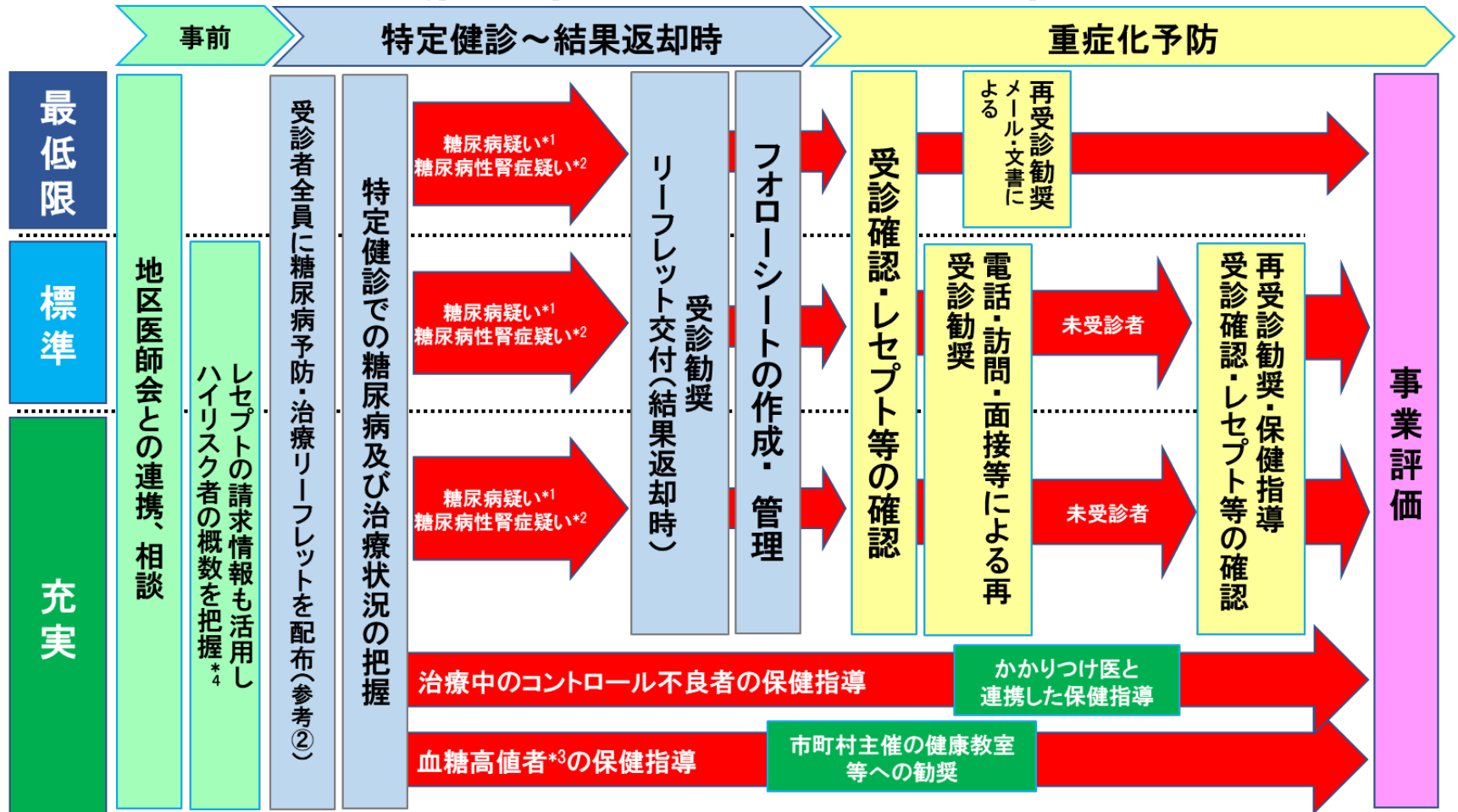
注釈： H25では、関係機関との連携の有無に関するアンケート調査は実施していない。

現状と今後の期待(高血圧対策)

- 受診勧奨：80%以上
- レセプトチェックでの受診確認：約70%
- 関係機関連携：医師会、医療機関連携は50%前後

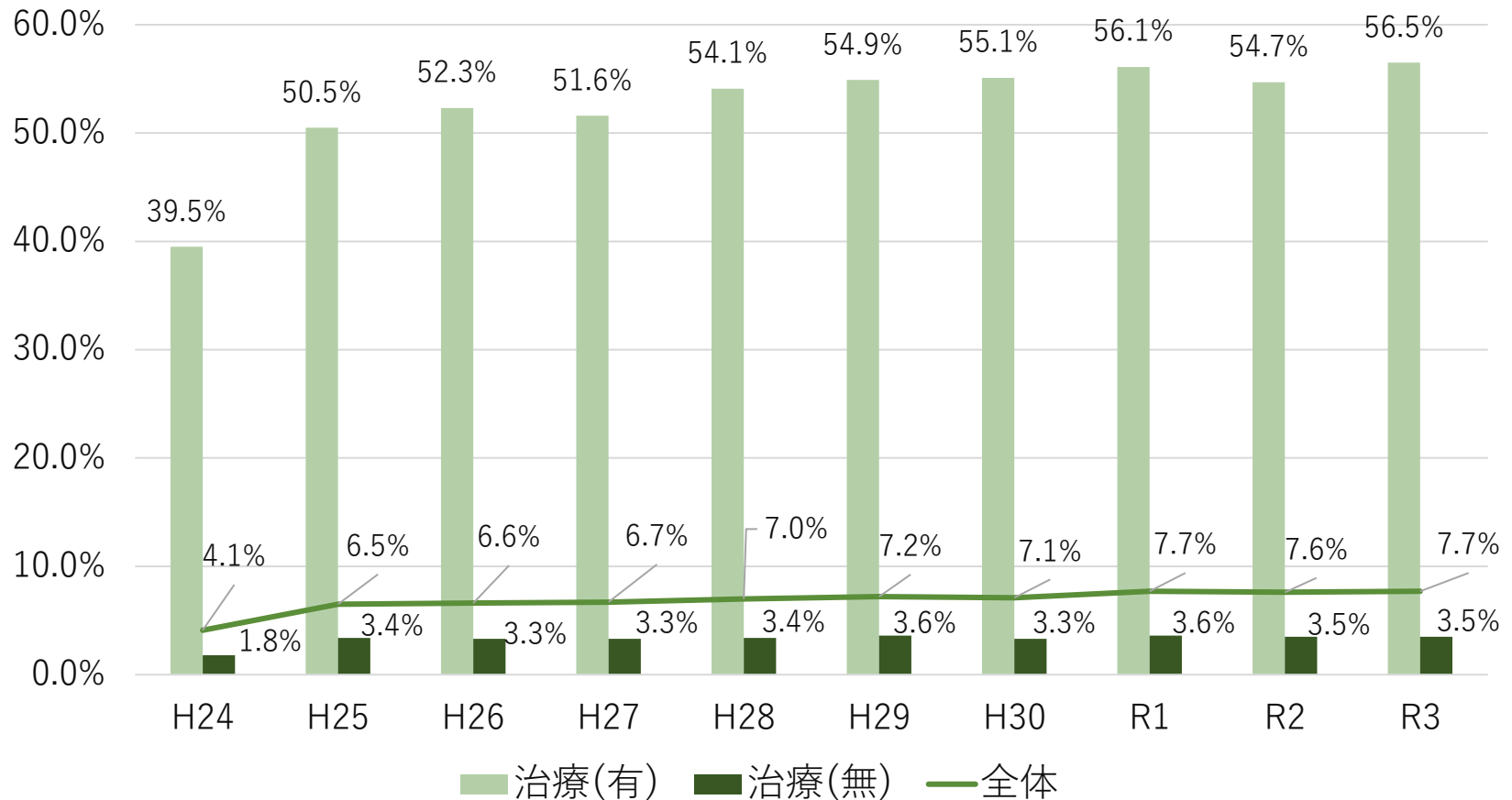
最低限の取組みは、約60%の市町村で実施可。
今後、フォローシートの作成や管理、受診確認など
次の踏み込んだ対策の充実を期待する

糖尿病対策 (糖尿病性腎症重症化予防を含む)



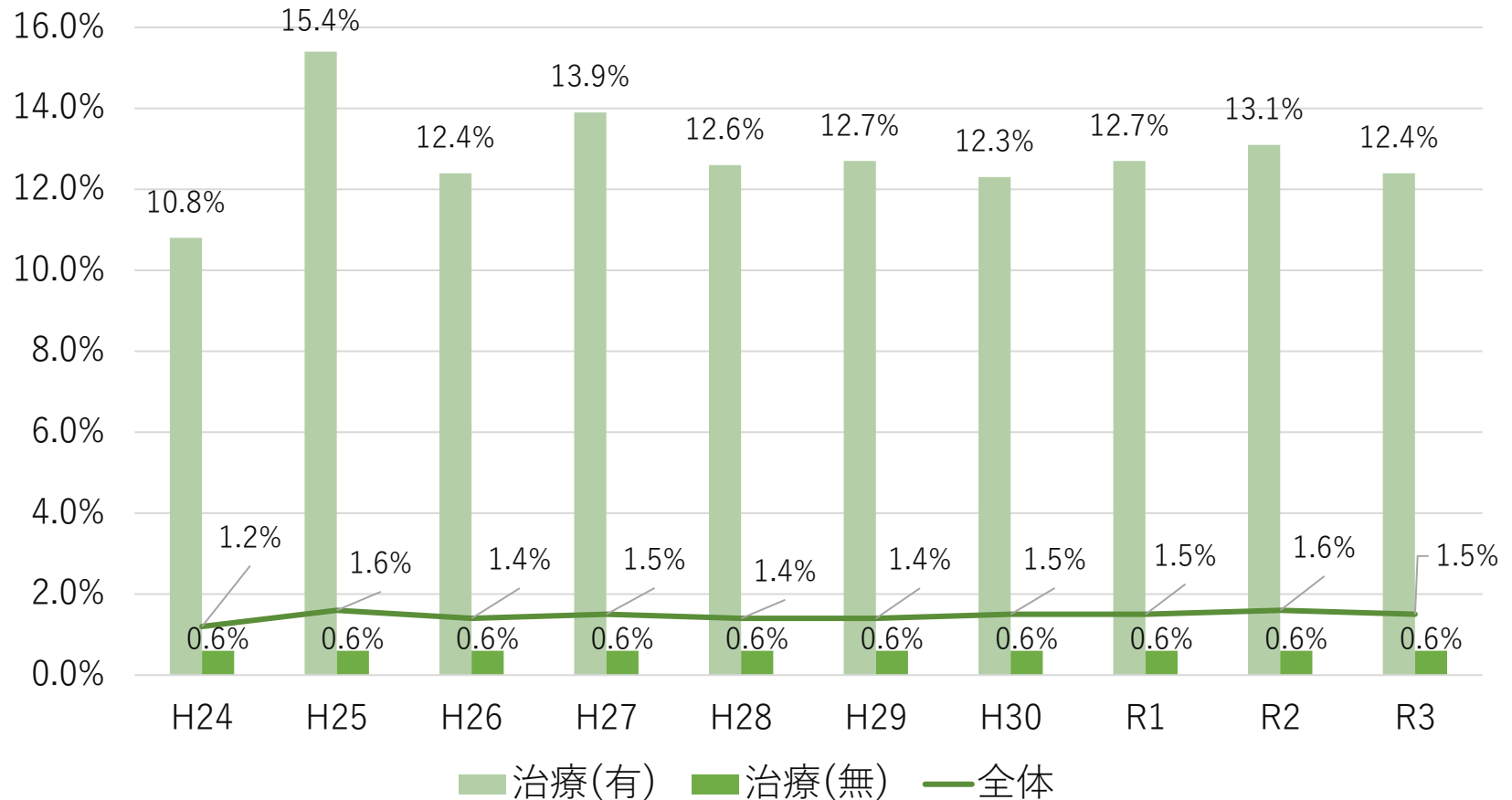
*1 糖尿病の疑いHbA1c6.5%以上 又は、空腹時血糖126mg/ml以上 *2 糖尿病性腎症疑い 糖尿病の疑いかつ尿蛋白(±)またはeGFR60未満
*3 血糖高値者 HbA1c6.0～6.5%未満 *4 ハイリスク者 糖尿病予備群、未治療者、糖尿病性腎症対象者

特定健診における糖尿病(中等度)有病率の推移 (男女)【市町村国保】



糖尿病(中等度)の定義は、 $6.5\% \leq \text{HbA1c} < 8.0\%$

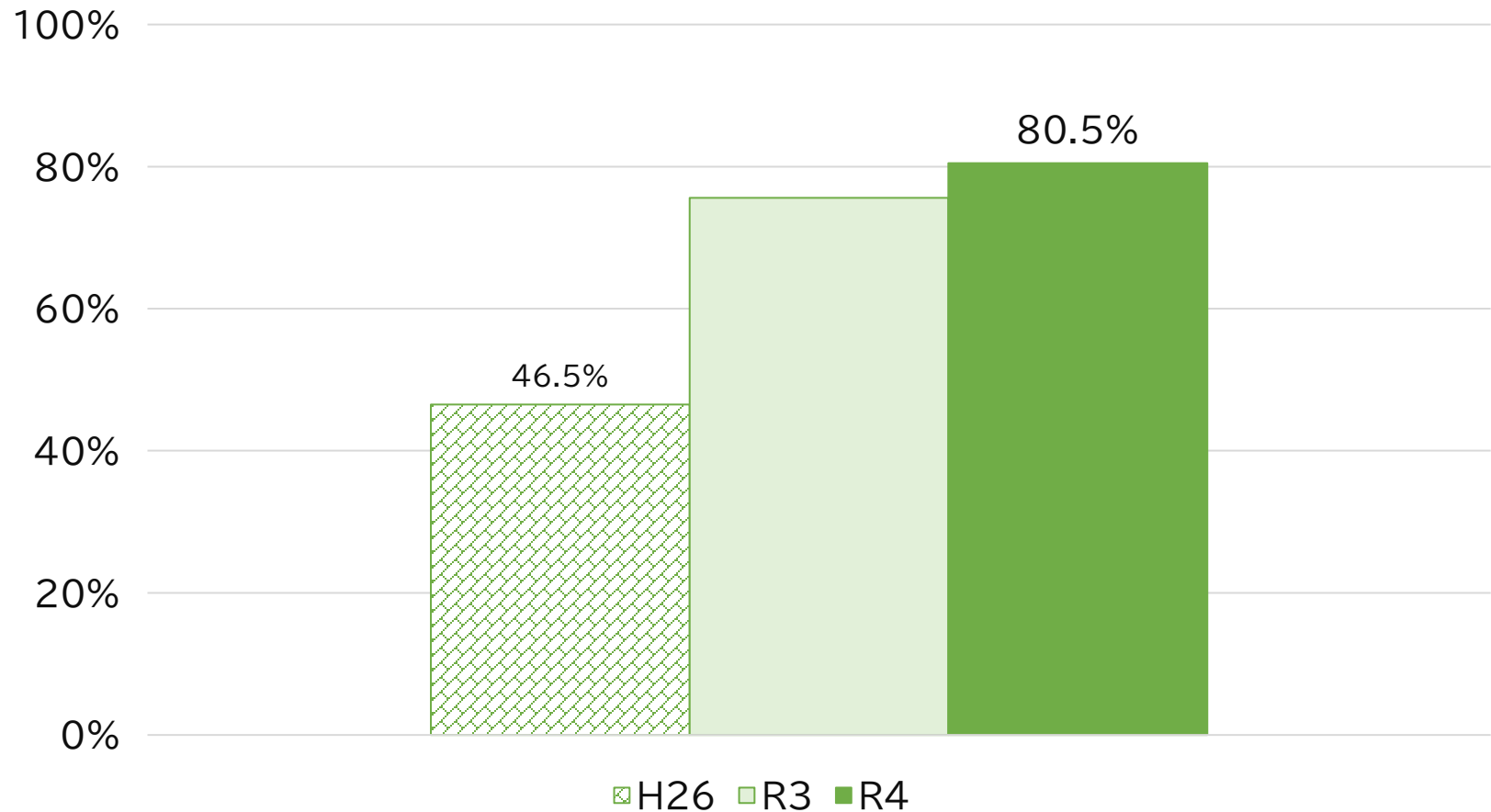
特定健診における糖尿病(重度)有病率の推移 (男女)【市町村国保】



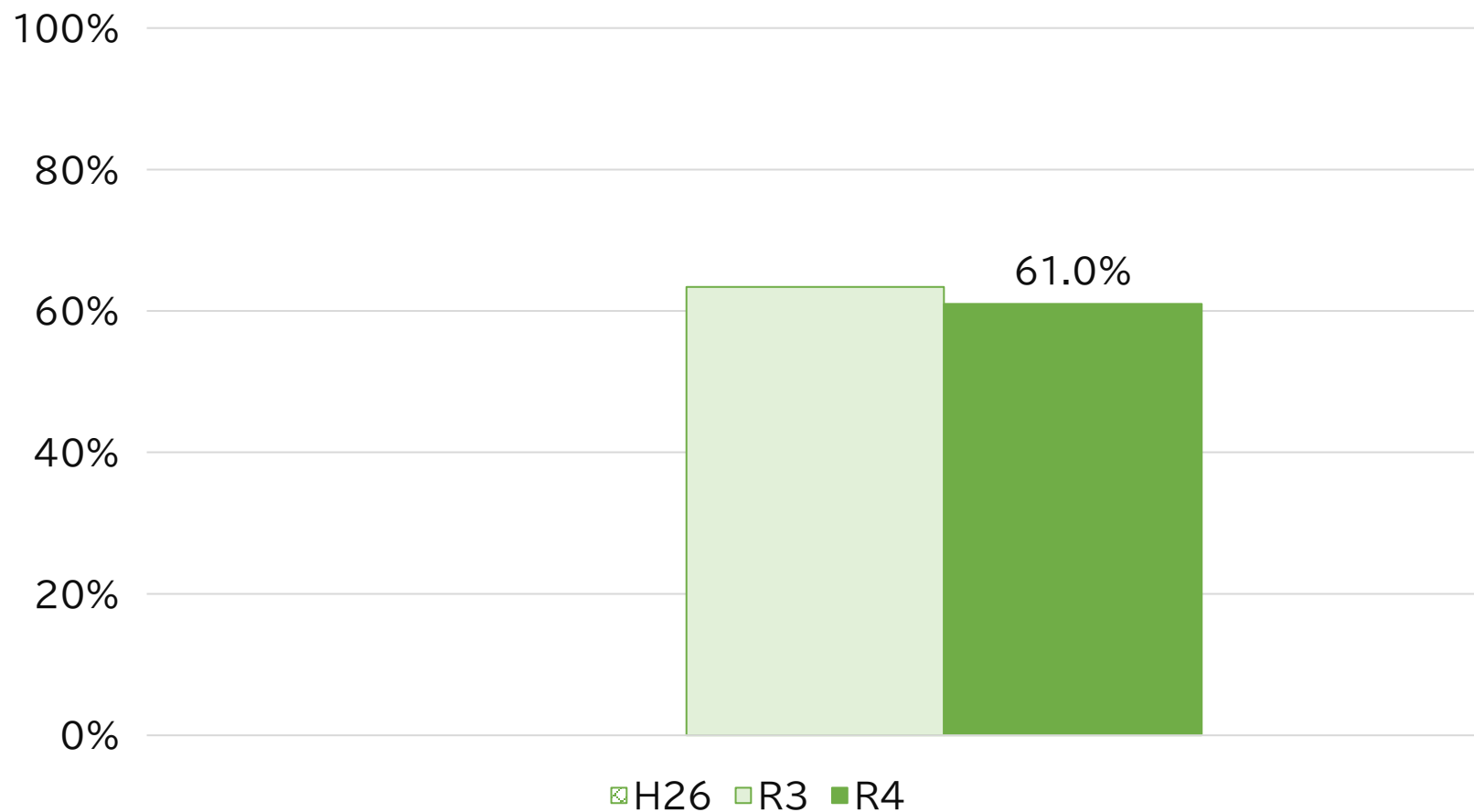
糖尿病(重度)の定義は、 $8.0\% \leq \text{HbA1c}$

未治療者への受診勧奨

(肥満ありHbA1c6.5%以上)

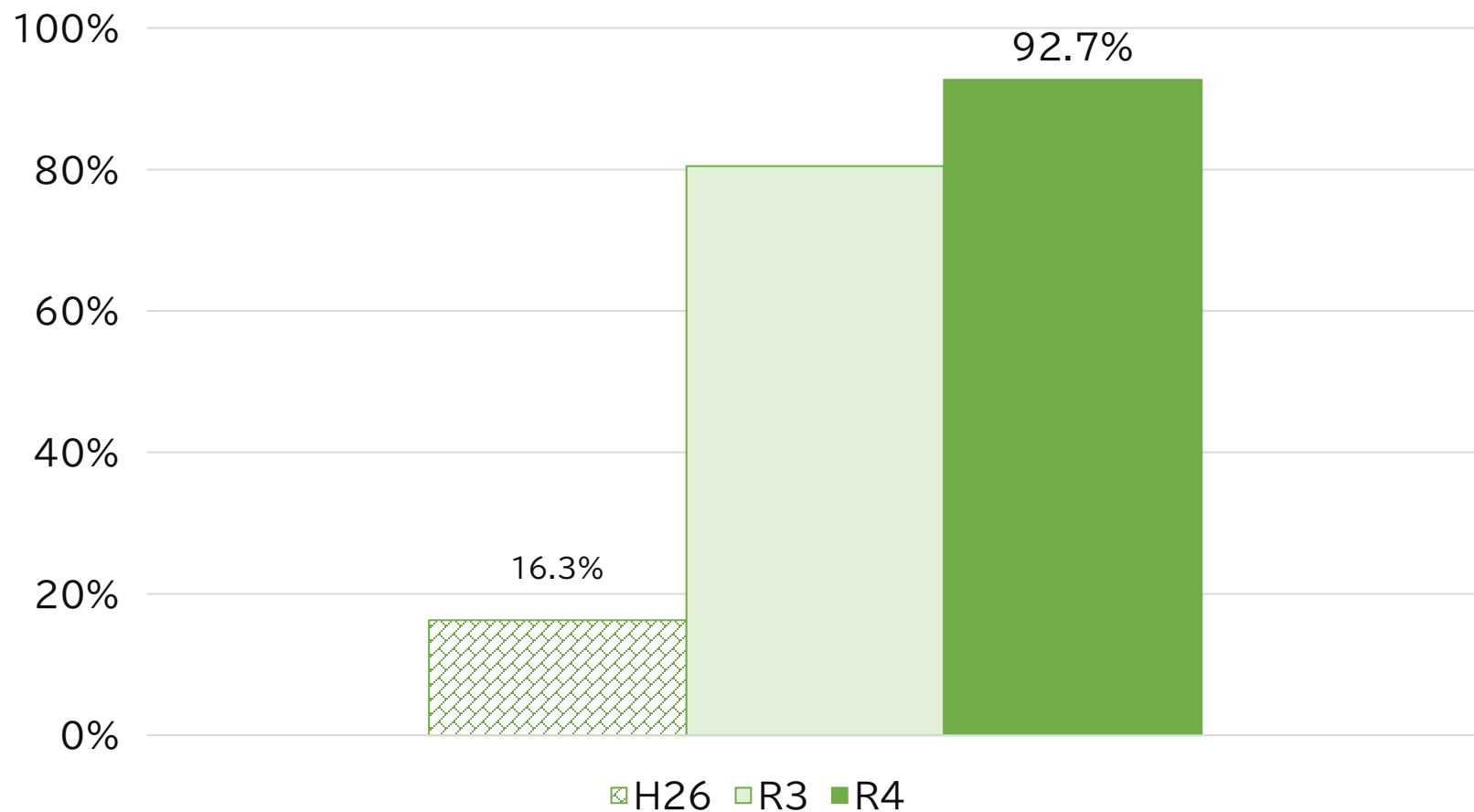


再受診勧奨

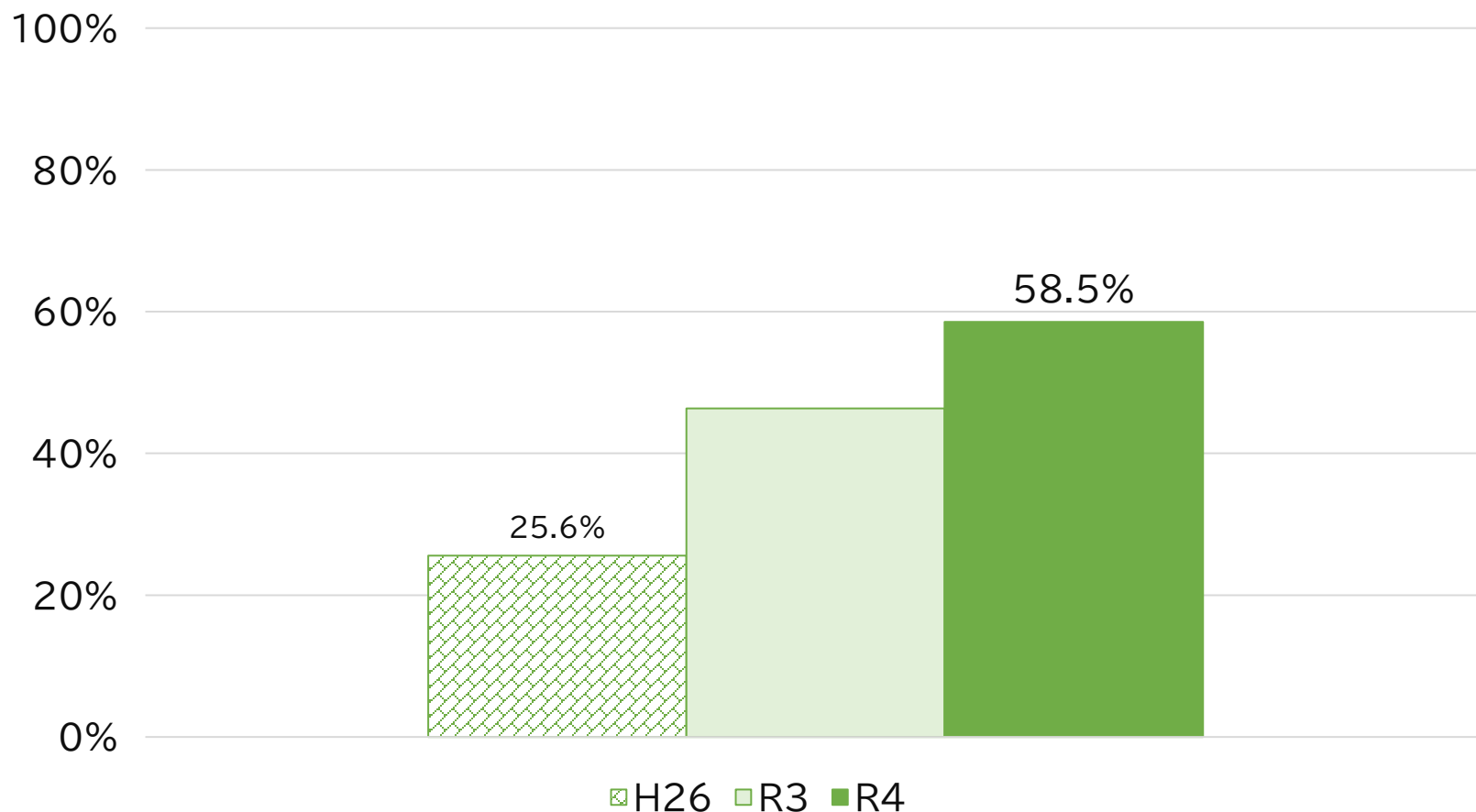


注釈： H26では、再受診勧奨に関するアンケート調査は実施していない。

KDBシステムの利用



医師会との連携(受診勧奨)



現状と今後の期待(糖尿病対策)

- 未治療者への受診勧奨： 80%
- 再受診勧奨： 60%前後
- KDB利用： 90%以上
- 医師会との連携(受診勧奨)： 約60%

糖尿病対策は、医師会・医療機関との連携が欠かせない。事例を用いた議論や共有の場を設けるなど、今後の関係や機能の強化・発展が期待される。

総括

汎用性の高い行動変容プログラム(第一期)

- 調査開始からの約10年で取組みは向上している。しかし、改善や進展が望まれる項目もある。
- 行政機関(担当部署)だけでなく、関係機関との連携による取組みが重要である。



令和6年度からの新たな事業テーマ [汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)]

① 骨粗鬆症対策

- 骨折等の基礎疾患となり、高齢社会の進展で増加が予想されることから、早期に骨量減少者を発見して予防に取り組むことを目的とする。

② ロコモ予防(フレイル予防を含む)

- ロコモの要因には、骨粗鬆症、変形性関節症・脊椎症、サルコペニア等の有病率の高い運動器疾患、運動器の疼痛、運動器の機能低下等があり、また、メタボによる膝や腰への負荷の増加にもつながる。痩せすぎも骨粗鬆症やサルコペニアとなり、ロコモにつながる。
- ロコモを予防することはメタボなどの生活習慣病予防、フレイル予防につながる。

★幼年期から高年期までの各ステージに応じたライフコースアプローチを本プログラムで示すことを検討。



R6年度スケジュール

内容	詳細
プログラム検討会	- 第1回：6月10日 - 第2回：6月24日 - 第3回：11月…市町村アンケートの結果を踏まえ、プログラム案を作成
市町村アンケート	時期：9月（予定） → 後日案内
プログラム案の作成	市町村の取り組み実態により検討する

R6～R8年度スケジュール（案）	
R6（2024）年度	- プログラム検討会（有識者・大安研・大阪府） - 市町村アンケートの実施、集計、結果のまとめにて、市町村の取り組みの実態を把握する - プログラム案を作成
R7（2025）年度	モデル市町村を選定 プログラム案をモデル的に実施し、効果測定を行う
R8（2026）年度	R6～R7年度の取り組みを踏まえ、プログラムの取りまとめを行う



汎用性の高い行動変容プログラム(第二期) <検討会での意見など>

【方向性】市町村の支援により、住民がどのような状態(健康増進)となることを目標とするか。

- 骨粗鬆症対策:骨粗鬆症検診を受け、自分の骨密度を把握する。骨粗鬆症を予防する生活を送る。
- ロコモ予防:若いうちから健康に過ごし、ロコモを予防して介護を必要としない。

【取り組み内容】

- 普及・啓発、受診勧奨(骨粗鬆症検診の受診率を上げていくには?若年層からのロコモ予防の取組をどう推進していくか??)
 - ・啓発の対象は?(ライフコースアプローチとして)
 - ・ヘルスリテラシーの向上



汎用性の高い行動変容プログラム(第二期) <検討会での意見など>

【取り組み内容】

●既存事業の活用

- ・ 骨粗鬆症検診、学校での運動器検診、特定健診や乳幼児健診など、健康診断の機会の活用
- ・ 各種イベント(健康イベントや健康関連以外でも)
- ・ 大阪府の取組・・・アスマイルでのインセンティブ(骨粗鬆症検診を受診したらポイント付与)、「フレイルって何なん？」の啓発媒体の使用など

●新たに実施の必要なこと

- ・ 受診者・対象者の管理、事後フォローの体制など

く けんしん記録 メニュー 三

2024 年度 ▼

※ 受診日・受診機関は一度登録すると、回答内容の確認・修正はできません。
※ 医療保険者(市町村国民健康保険)から提供を受けた健診データは修正できません。
※ がん検診は健診(事業所健診、人間ドック等)の中で受診したものも含みます。

特定健診・事業所健診・人間ドック・後期高齢者健診・若年者健診・学校健診・その他の健診

受診日・健診結果を入力する

骨粗しょう症検診

受診日 必須

/

受診機関 必須

例：〇〇病院・職場で受診 など

登録



汎用性の高い行動変容プログラム(第二期) <検討会での意見など>

【評価方法・指標】 現在把握できるデータで確認できる数値の活用

- 骨粗鬆症検診の受診率、骨折のレセプト、骨密度測定による要指導・要精検者の割合
- 国民健康基礎調査(ロコモティブシンドロームの該当者数)、ロコモティブシンドロームの認知度

担当者が効果的に保健事業を実施していくことを目的としてこれらの検討事項を踏まえプログラムを提示していく



【汎プロ・市町村アンケート】 保健事業の取組実態把握について

- ・市町村の取り組みをモニタリングし、効果的な取り組みを検討するためのアンケートを今年度の8～9月に実施。
- ・アンケートの内容により、各市町村へのヒアリングを実施予定。



趣旨をご理解いただき、アンケートへのご回答のご協力をよろしくお願いいたします。



情報提供(「禁煙支援」に関して)

- 禁煙推進学術ネットワーク「禁煙オフィシャルブックレット」

<https://www.kinennohi.jp/shizai/booklet/index.html> (R6年3月公開)

- 日本医師会「禁煙は愛」

<https://www.med.or.jp/forest/kinen/>

